

# ネットワークレコーダー

## WTW-NV4 説明書

株式会社 塚本無線

三重県鈴鹿市磯山 1 丁目 16 - 21

TEL 059 - 387 - 8000

# ご注意

# 電源部分は防水処理が必要です

防水仕様のカメラでも、配線の接続部分や電源アダプターは防水仕様ではないため、屋外に設置する際、電源部分は防水処理をしていただく必要があります。

防水処理無しでの設置はカメラの故障の原因になりますので、必ず電源ボックスや屋外用コンセントを用いて、水に触れないようにして下さい。



## 防水処理に必要な物の一例

(全て別途お客様側でご用意下さい)



電源ボックス



PF管  
モールダクト



屋外用コンセント



自己融着テープ

### PoEの場合



### 同軸ケーブルの場合



ボックス内に電源アダプターを収める場合は大きめのボックスをご用意ください。

## 忘れずに！ ケーブルの接続部分も防水処理！

ケーブルのコネクター部分を市販の自己融着テープで接続部分を巻いて下さい。

※防水性能の無いビニールテープ等を使用すると、経年劣化により浸水・錆等が発生する恐れがあります。

- 1 市販の自己融着テープを用意します
- 2 1箇所ずつテープで巻きます
- 3 防水処理完了



---

## **注意事項**

デバイスや他の接続装置の損傷を防止するために、次の安全に関する注意事項をよくお読みください。

**1. 電源（注：メーカーが取り付けまたは指定した電源をご使用ください）**

不特定の電源装置を使用してデバイスを操作しないでください。

**2. NVR の開口部にいかなるものを差し込まないでください。**

感電やその他事故を避けるために、NVR の開口部に物を押し込まないでください。

**3. 埃の多いところにデバイスを置かないでください**

デバイスをほこりの多い場所に置かないでください。

**4. デバイスを雨や湿度の高い環境下に置かないでください**

デバイスを地下のような湿度の高い環境下に置かないでください。デバイスが水に触れた場合は、電源ケーブルを抜いてすぐに販売店にご連絡ください。

**5. デバイスの表面を清潔で乾燥した状態に保ってください**

NVR の外側のケースを清掃するには柔らかい布を使用してください（液体クリーナー等は使用しないでください）

**6. 何かしらの問題が見つかった場合は操作を中止してください。**

NVR から奇妙な臭いや音がする場合は、電源ケーブルを抜いて販売店またはサービスセンターに連絡してください。

**7. 上部カバーを取り外さないでください**

警告：感電防止のため、NVR のカバーを取り外さないでください。

**8. 取り扱い注意**

何らかの影響で NVR が正常に動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。

**9. 標準のリチウム電池を使用してください**

（注：メーカーが取り付けまたは指定した電池を使用してください）

**10. 換気の良い場所にデバイスを置いてください**

NVR システムには HDD が搭載されており、動作中に大量の熱を発生します。そのため、作動中にシステムを冷却するための通気口（上、下、両側、および裏側）をふさがないでください。

**11. 付属の電源アダプターは、1 つの NVR にしか使用できません。**

多くのデバイスに接続しないでください。電源が不十分な場合は、NVR が繰り返し再起動されることがあります。

**12. 花瓶などの水が入ったものをデバイスの側に置かないでください。**

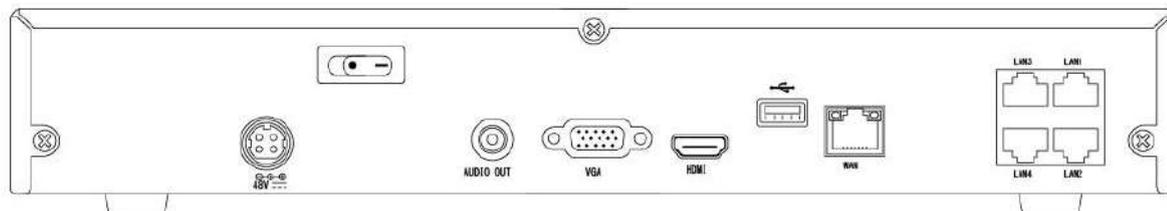
<b>第1章 製品の概要</b> .....	<b>1</b>
1.1 後面パネル .....	1
1.2 リモコン (参照のみ) .....	2
<b>第2章 NVRの取付と接続方法</b> .....	<b>3</b>
2.1 接続図.....	3
2.2 電源接続.....	3
<b>第3章 NVRの一般的な操作</b> .....	<b>4</b>
3.1 付属マウスの使用 .....	4
3.2 仮想キーボードの使用 .....	4
3.3 ログイン .....	5
<b>第4章 NVRの設定</b> .....	<b>6</b>
4.1 スタートウィザード.....	6
4.1.1 スタートウィザード.....	6
4.1.2 ネットワーク設定.....	6
4.1.3 日付/時間.....	7
4.1.4 IPカメラ.....	9
4.1.5 ディスク.....	11
4.1.6 解像度.....	11
4.1.7 モバイル.....	12
4.1.8 概要.....	12
4.2 ライブスクリーン表示.....	13
4.2.1 クイックツールバー.....	14
4.2.2 タスクメニューバー.....	15
<b>第5章 NVRシステム設定</b> .....	<b>16</b>
5.1 チャンネル.....	16
5.1.1 IPチャンネル.....	16
5.1.2 プロトコル管理.....	17
5.1.3 ライブ.....	18
5.1.4 イメージコントロール.....	19
5.1.5 モーション検知.....	20
5.1.6 ビデオカバー(モザイク).....	21
5.1.7 Intelligent.....	22
5.1.7.1 PID (境界侵入検知機能).....	22
5.1.7.2 LCD (ライン交差検知).....	24
5.1.7.3 SOD (静止物体検知機能).....	26
5.1.7.4 PD (歩行者検知).....	28
5.1.7.5 FD (顔検出).....	30
5.1.7.6 CC (クロスカウント).....	32
5.1.7.7 CC Statistics.....	34
5.1.7.8 Intelligent Schedule.....	34
5.2 録画.....	35

5.2.1 エンコード	35
5.2.2 録画設定	36
5.2.2.1 録画	36
5.2.2.2 録画スケジュール	37
5.2.3 キャプチャー	38
5.2.3.1 キャプチャー	38
5.2.3.2 キャプチャースケジュール	39
5.3 アラーム	40
5.3.1 モーション	40
5.3.2 PTZリンク	40
5.3.3 Exception	41
5.4 ネットワーク	42
5.4.1 一般	42
5.4.4.1 PPPoE	43
5.4.1.3 ポート設定	43
5.4.2 DDNS	44
5.4.3 Eメール	45
5.4.3.1 メール設定	45
5.4.3.2 メールスケジュール	46
5.4.4 FTP	47
5.5 デバイス	48
5.5.1 ディスク管理	48
5.5.1.1 S.M.A.R.T	48
5.6 システム	49
5.6.1 全般的な設定	49
5.6.1.1 日付と時間	50
5.6.1.2 NTP設定	50
5.6.1.3 DST設定	51
5.6.2 出力設定	52
5.6.2.1 LIVE-OUT	52
5.6.3 マルチユーザー	54
5.6.3.1 パスワード変更	54
5.6.3.2 新規ユーザーの追加	55
5.6.3.3 ユーザー権限設定	56
5.6.4 保守設定（メンテナンス）	57
5.6.4.1 ログ	57
5.6.4.2 工場出荷設定	58
5.6.4.3 アップグレード	59
5.6.4.4 パラメーター管理	59
5.6.4.5 自動再起動	60
5.6.5 IPカメラメンテナンス	60
5.6.5.1 IPカメラアップグレード	61
5.6.5.2 IPカメラの読み込みデフォルト設定	61
5.6.6 システム情報	62

5.6.6.1 情報 .....	62
5.6.6.2 チャンネル情報.....	62
5.6.6.3 録画情報.....	63
5.6.6.4 ネットワーク状況.....	63
<b>第6章 検索、再生、バックアップ.....</b>	<b>64</b>
6.1 検索を利用して再生 .....	64
6.1.1 一般的な検索と再生 .....	66
6.1.1.1 ビデオクリップ バックアップ.....	66
6.1.2 イベント検索 再生とバックアップ .....	68
6.1.2.1 イベント再生.....	70
6.1.3 サブ期間の再生.....	71
6.1.4 画像検索と表示.....	72
6.1.5.1 画像プレビューコントロール.....	73
<b>第7章 Webクライアント経由の遠隔操作.....</b>	<b>74</b>
7.1 基本的なシステム環境 .....	74
7.2 WEB プラグインのダウンロードとインストール.....	74
7.3 WEBクライアントマネージャー .....	76
7.3.1 ライブインターフェース .....	76
7.3.2 再生.....	79
7.3.2.1 再生コントロールボタン.....	80
7.3.3 リモート設定 .....	81
7.3.4 ローカル設定.....	81
<b>第8章 PC / MACでのバックアップされたビデオの表示.....</b>	<b>83</b>
<b>第9章 モバイルデバイスによるリモートアクセス .....</b>	<b>86</b>
<b>第10章 補足 .....</b>	<b>89</b>
10.1 トラブルシューティング .....	89

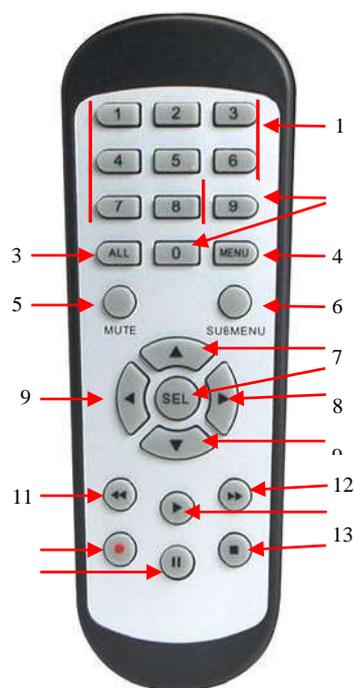
# 第1章 製品の概要

## 1.1後面パネル



No.	ポート	接続方式
1	電源スイッチ	電源スイッチ
2	電源ポート	付属の電源を接続
3	USBポート	USBマウスやUSBフラッシュディスクなどのUSBデバイスを接続
4	センサー/アラーム	センサーまたは警報装置に接続（本製品には対応しません）
5	HDMIポート	HDMIハイビジョンポート
6	VGAポート	PCモニターやVGAモニターに接続
7	ラインイン	音声入力（本製品には対応しません）
8	オーディオ出力	オーディオ信号出力、RCAインターフェース
9	WANポート	ルーターのネットワーク入力またはインターネット接続
10	LANポート	LANネットワークはPOEに対応し、カメラに電力を供給します
11	E-SATA	録音とバックアップ用にe-SATA HDDに接続（本製品には対応しません）

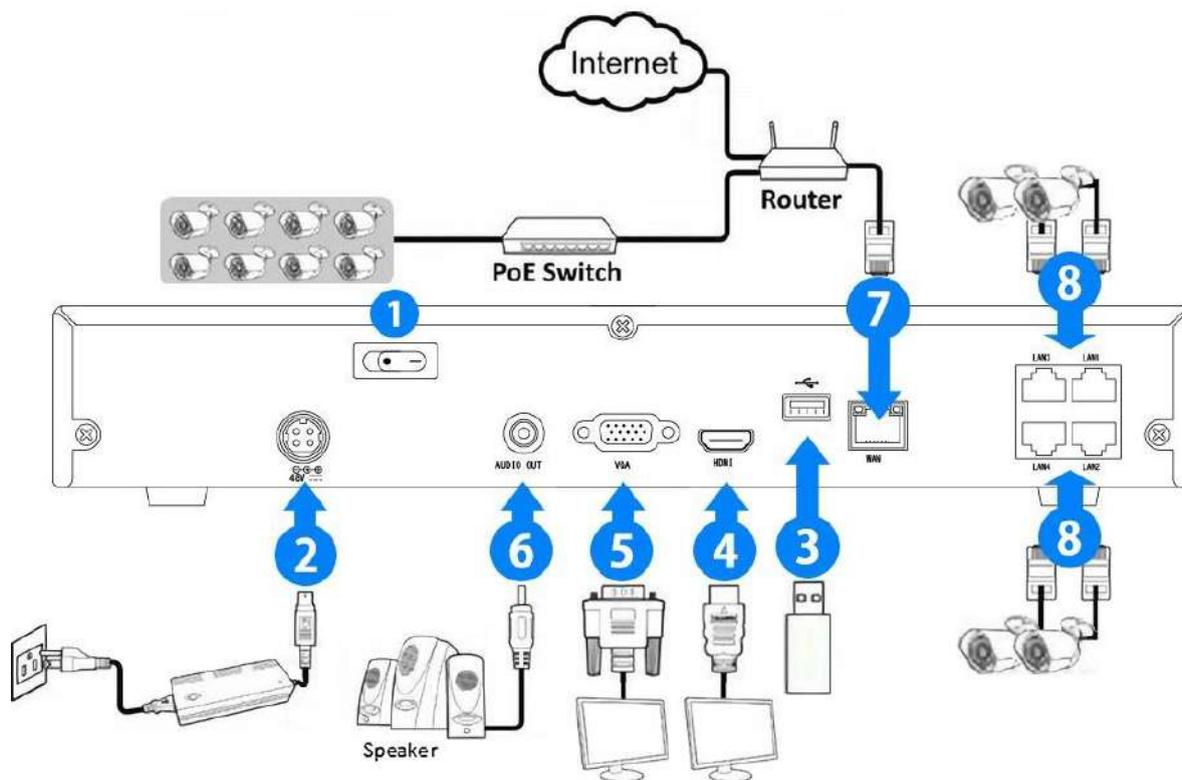
## 1.2 リモコン (参照のみ)



No.	アイコン	説明
1	1-8	数値キー 1~8のチャンネル
2	9、0	数値キー
3	ALL	すべてのチャンネル 複数表示モード
4	Menu	メインメニュー
5	Mute	ミュート ON/OFF
6	Submenu	サブメニュー
7	▲	↑矢印キー、音量の増加
8	SEL	メニュー項目を選択 設定の編集
9	◀ ▶	左右キー
10	▼	↓矢印キー、音量の減少
11	◀◀	巻き戻し
12	▶▶	早送り
13	▶	再生
14	●	録画
15	■	停止
16		一時停止

## 第2章 NVRの接続方法

### 2.1 接続図

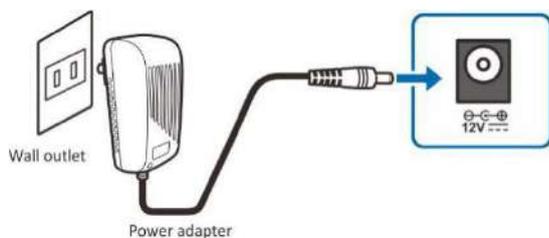


メモ:上の図は参照です。実際の接続は、NVRの機種によって異なる場合があります。

### 2.2 電源接続

注意: NVRに付属の電源アダプタを使用してください。

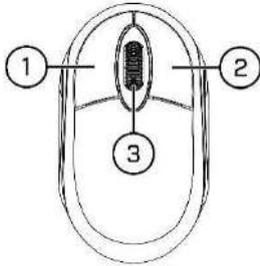
電源アダプタをNVR背面電源コネクタに接続します。電源アダプタのもう一方をコンセントに差し込みます。



特定のモデルは、電源スイッチを押して電源を入れる必要があります。

## NVRの一般的な操作

### 3.1 付属マウスの使用



#### 1. 左ボタン:

- クリックしてメニューオプションを選択します。
- 分割画面で、チャンネルをダブルクリックするとフルスクリーンで表示されます。チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。
- ライブ画面のチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが開きます。
- メニューモードでスライダとスケールをドラッグします。

#### 2. 右ボタン:

- ライブ画面でタスクバーを開くには、一度クリックします。

#### 3. スクロールホイール:

- メニューで、スクロールしてメニューコンテンツを上下に移動します。
- 音量にカーソルを合わせながらスクロールして、音量を上げ下げします。

### 3.2 仮想キーボードの使用

データを入力する必要がある場合は、仮想キーボードが画面に表示されます

大文字と句読点を入力



### 3.3 ログイン

ログイン画面でのログイン方法になります。

The screenshot shows a login form with the following elements:

- 言語 (Language): A dropdown menu with "日本語" (Japanese) selected.
- デバイスID (Device ID): A text input field containing "000000" with "(000000)" as a placeholder or label.
- ユーザー名 (Username): A dropdown menu with "admin" selected.
- パスワード (Password): A text input field.
- Show Password: A checkbox labeled "Show Password".
- ログイン (Login): A button at the bottom center.

- 言語 : OSD 言語を選択する
- デバイスID : デバイス ID をかっこで囲んで入力してください。  
デフォルト ID は 000000 です。  
デバイス ID の詳細については、  
5.6.1 一般を参照してください。
- ユーザー名 : 弊社出荷時は admin になります。
- パスワード : 弊社出荷時は 00000000 0が8文字です。

#### 【設定初期化時の注意点】

本録画機を工場出荷状態にした際、各種設定と同時にパスワードも初期化され 00000000 ではログインが出来なくなります。

設定初期化を行った際のログインパスワードは「wtwjapan」になりますので、ログインの際は注意して頂くようお願い致します。

また、セキュリティ強化のためログイン後にパスワードを変更いただきますようお願い致します。

録画機を使用する際は、プライバシーを保護するためにパスワードの変更を推奨しています。

※パスワードを忘れた場合、録画機にログインできなくなります。販売元に連絡してパスワードをリセットしてください。

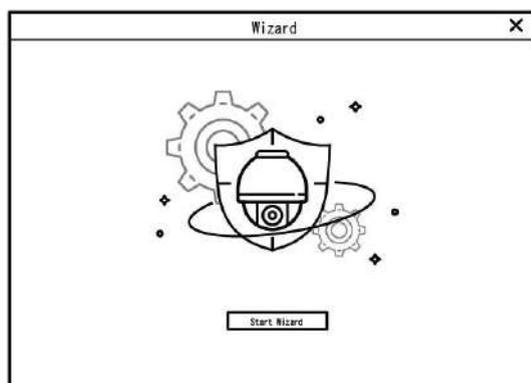
## 第4章 NVRの設定

### 4.1 スタートウィザードから設定します

スタートウィザードは、システムの設定を素早く設定するようにします。

#### 4.1.1 スタートウィザード

**Start Wizard** をクリックして次のステップに進みます。



#### 4.1.2 ネットワーク設定

Network	
Local Connection	
DHCP	<input checked="" type="checkbox"/>
IPアドレス	192.168.000.000
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.111
DNS	
DNS1	192.168.000.000
DNS2	008.008.008.008
Port	
Web port	00080
クライアントポート	00000
Rtspポート	00444
UPnP	<input checked="" type="checkbox"/>

DHCP にチェックを入れると、自動で IP アドレスを割り振られます。

**IP アドレス**：割り振られたアドレスを表示します。

**サブネットマスク**：サブネットマスクを表示します。

**ゲートウェイ**：一層上のアドレス今回はルーターのアドレスを表示します。

**DNS1/DNS2**：DNS1 はプライマリ DNS サーバーで、DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。通常、DNS1 サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

**Web Port:** NVR にリモートでログインするために使用するポートです (Web クライアントなど)。既定のポート 80 が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

**クライアントポート:** NVR が情報を送信するために使用するポートです (モバイルアプリなど)。既定のポート 9000 が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

**RTSP ポート:** NVR が他のデバイスにリアルタイムストリーミングを送信することを許可されるポートです (ストリーミングメディアプレーヤーを使用するなど)。

**UPnP:** Web Client を使用して NVR にリモートログインする場合は、ルーターでポート開放する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート開放を手動で設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート開放を手動で行ってください。

### 4.1.3 Date/Time

日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、および DST を構成できます。

## Date and Time

**日付:** システム日付を設定するには、カレンダーアイコンをクリックします。

**時刻:** クリックすると、システム時刻が設定されます。

**日付表示形式:** プルダウンメニューから希望の日付形式を選択します。

**時刻表示形式:** 24 時間から 12 時間までの時間形式を選択します。

**タイムゾーン:** 正しいタイムゾーンを設定してください。(日本は、GMT+09 : 00)

## NTP

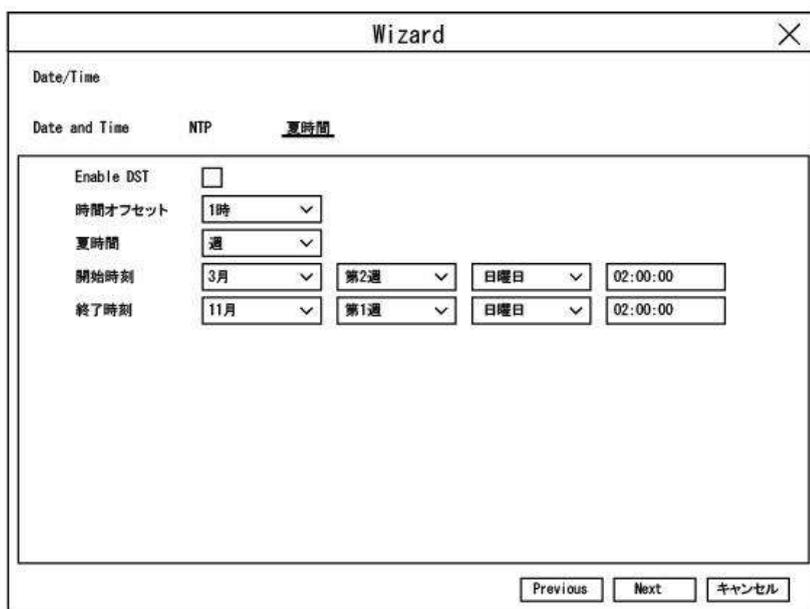
Network Time Protocol (ネットワークタイムプロトコル) の略です。この機能を使用すると、インターネット経由で NVR 上の日付と時刻を自動的に同期させることができます。したがって、NVR はインターネットに接続する必要があります。



“NTP” ボックスをチェックし、NTP サーバーを選択します。

## DST

サマータイム設定です。日本では設定の必要がありません



**DST:** サマータイムの設定

**時間オフセット:** サマータイムのオフセット時間を選択する。

**夏時間:** 週または日単位で夏時間を設定できます。

**開始時間/終了時間:** サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定できます。

### 4.1.4 IP Camera

NVRにIPカメラを追加できます。



検索をクリックして、同じネットワーク内の IP カメラを検索します。追加する IP カメラを選択し、アイコン  をクリックして NVR に追加します。もしくは、 ボタンをクリックして、個々の IP カメラを各チャンネルに追加することもできます。

Add IP Camera ×

No.	IPアドレス/ドメインネーム	ポート	製造者	デバイスタイプ	MACアドレス	ソフトバージョン
1	192.168.24.105	9989		IP CAMERA	84-61-ED-11-01-A7	V4.41.48_
2	192.168.24.106	8999	IPC-E11000		84-61-ED-11-01-C5	
3	192.168.24.112	8999	IPC-D41000		84-61-ED-11-01-8D	
4	192.168.24.115	9988		IP CAMERA	84-61-ED-11-01-D0	V4.41.48_

IPアドレス/ドメインネーム

エイリアス

位置  ▼

ポート

プロトコル  ▼

ユーザー名

パスワード   Show Password

検索ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストの IP カメラの 1 つをクリックします。

**IP アドレス/ドメインネーム:** IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

**エイリアス:** IP カメラの名前

**位置:** カメラ名を画面に表示する位置

**ポート:** IP カメラのポート

**プロトコル:** ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します

**ユーザー名:** IP カメラのユーザー名

**パスワード:** IP カメラのパスワード

**チャンネルバインド:** 接続したい NVR のチャンネルを選択してください

## 4.1.5 ディスク

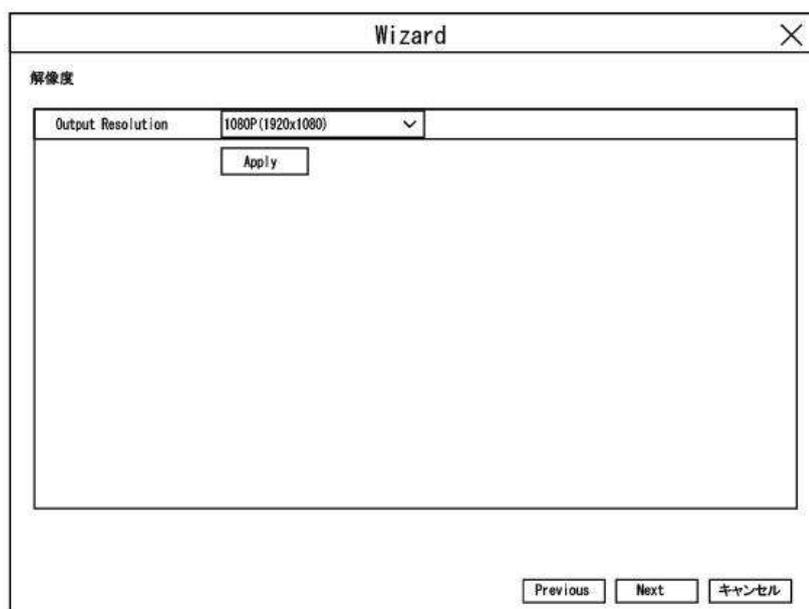


HDD が NVR に初めてインストールされた場合は、フォーマットする必要があります。  
HDD を選択し、HDD のフォーマットボタンをクリックすると HDD がフォーマットされます。

**上書き設定:** HDD がいっぱいになったときに古い録画を上書きすることができます。

## 4.1.6 解像度

モニターに合った出力解像度を選択してください。NVR は、システムの起動時にモニターの最高解像度に合わせて自動的に出力解像度を調整することができます。



### 4.1.7 モバイル

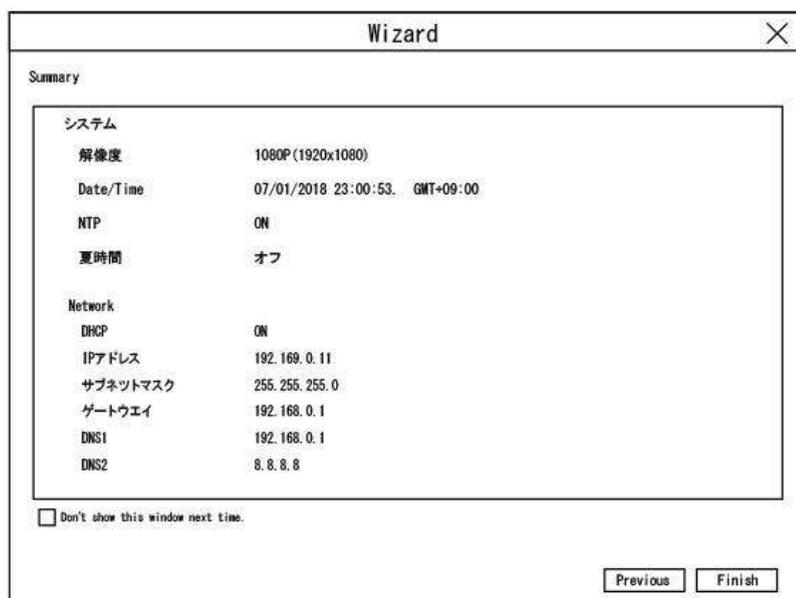
アプリをダウンロードして、QRコードをスキャンして、NVRを遠隔監視できます。



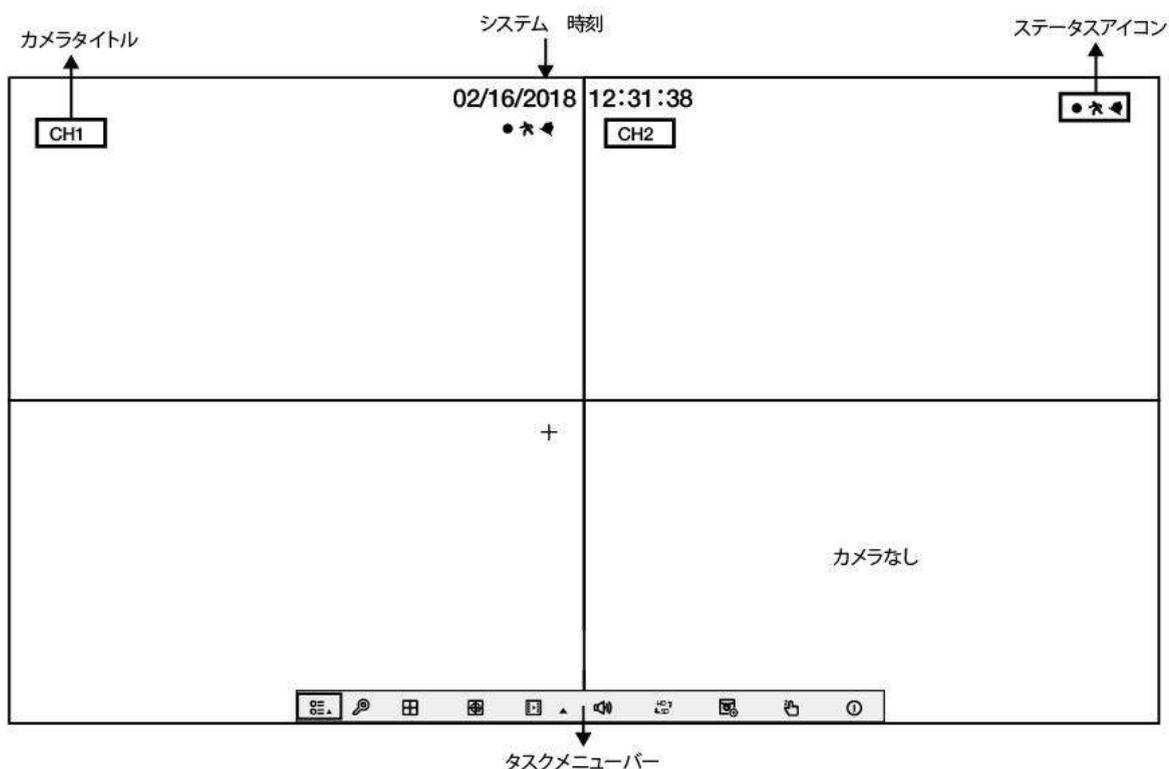
### 4.1.8 概要

開始ウィザードで設定したシステム要約情報を確認し、ウィザードを終了することができます。

次にシステムを再起動したときにスタートウィザードを表示したくない場合は、「次回このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。



## 4.2 ライブ画像 スクリーン表示



### カメラタイトル

カメラ個々の名前を表示します。

### 状況アイコン

-  NVR が現在録画中であることを示します。
-  カメラがモーションを検出したときに表示されます。
-  外部 I / O アラームデバイスがトリガーされたことを示します
-  HDD の動作に誤りがあることを示します
-  HDD がフォーマットされていないことを示します
-  HDD がいっぱいであることを示します。
-  HDD が読み取り専用であることを示します。

**カメラなし:** カメラが接続されていません。

**Decoding Failed:** NVR はこの種の IP カメラ圧縮規格をサポートしていません。

 クリックするとクイック追加メニューが開き、IP カメラを追加できます。

 クリックすると現在の IP カメラを編集できます。

## 4.2.1 クリックツールバー

ライブ画面では、接続されているカメラ上でマウスの右ボタンをクリックすると、クイックツールバーが表示されます。



-  クリックすると、チャンネルを手動で録画できます。 手動録画が進行中の場合、アイコンは赤色になります。 もう一度クリックすると、手動記録を停止します。
-  クリックすると、現在のカメラ画像のスナップショットが保存されます。 この機能を使用するには、手動キャプチャーを有効にする必要があります。 手動キャプチャーの有効化の詳細については、「5.2.3.1 キャプチャー」を参照してください。
-  クリックするとこのチャンネルの最新の5分間の録画が再生されます
-  クリックすると PTZ コントロールパネルに入ります
-  クリックするとチャンネルが拡大表示されます。 マウスホイールを回すことでズームイン、ズームアウトが可能です。
-  クリックすると、チャンネルの画像の色を調整できます。 画像の色合い、明るさ、コントラスト&サチュレーションを調整することができます。
-  ライブビデオストリームを HD と SD の間で切り替える。 HD はメインストリームライブビュー、SD はサブストリームライブビューです。

## 4.2.2 タスクメニューバー



設定：クリックして[スタート]メニューを開き、各項目に移動します。



シャットダウン：電源のOFF/再起動できます。



レイアウト：クリックすると、分割画面を選択できます。



自動シーケンス：クリックするとシーケンス表示します



再生：再生・検索画面に移動します。



音声：クリックすると音量が調整できます。



解像度変更：クリックすると、メインストリームとサブストリームが切り替わります。



クリックすると、ライブ画像が、リアルタイム・バランス・スムーズと切り替わります。ビューエフェクトモードは、ビットレートとフレームレートでライブビューのビデオ品質にのみ影響しますが、録画品質には影響しません。



手動録画のON/OFFができます。



システム情報、チャンネル情報、レコード情報、およびネットワーク状態を表示します。

## 第5章 NVR システム設定

NVR のチャンネル、録画、アラーム、ネットワーク、デバイス、およびシステムの設定  
タスクメニューバーから



### 5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビューの表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像の調整、PTZ 設定、モーショ  
ンセットアップ、変換モードなどを行うことができます。

#### 5.1.1 IP チャンネル



**AUTO Mode:** PoE マークが現れ、弊社専用の PRIVATE プロトコルを有するカメラを、POE 専用ポートに差し込め  
ば自動で設定され映像が表示されます。

**Manual Mode:** 手動モード時は下記の手順でカメラを設定できます。

**[検索]** をクリックしてローカルネットワークから IP カメラを検索します。

**[追加]** をクリックすると個別の IP カメラが追加できます。

**[全て追加]** をクリックするとすべての IP カメラが追加できます。

IPアドレス/ドメインネーム	192.168.1.211
エイリアス	CH4
位置	左上
ポート	80
プロトコル	Private
ユーザー名	admin
パスワード	●●●●●
チャンネルバインド	CH4

Show Password

[検索] ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストの IP カメラの 1 つをクリックします。

**IP アドレス/ドメイン名:** IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

**エイリアス:** IP カメラの名前

**位置:** カメラ名を画面に表示する位置

**ポート:** IP カメラのポート

**プロトコル:** ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します

**ユーザー名:** IP カメラのユーザー名

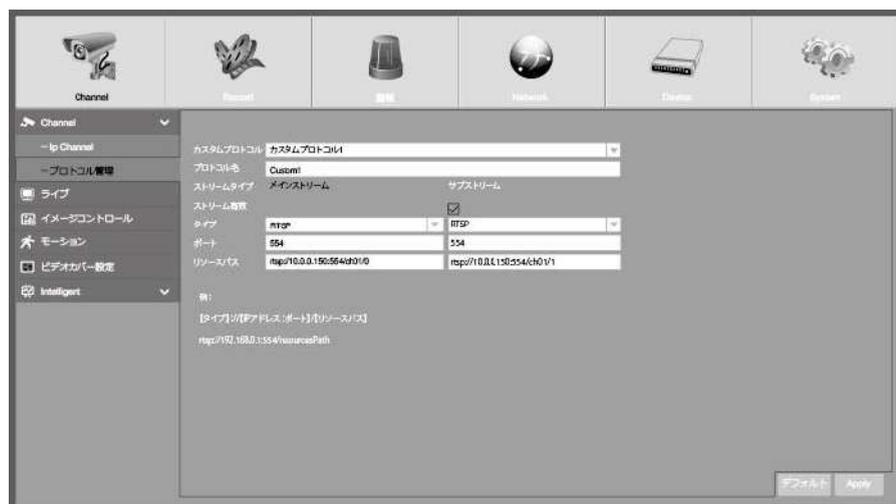
**パスワード:** IP カメラのパスワード

**チャンネルバインド:** 接続したい NVR のチャンネルを選択してください

**Default Password:** IP カメラの初期パスワードが確認できます。

## 5.1.2 プロトコル管理

プロトコル管理を使用すると、IP カメラ接続用の独自の RTSP プロトコルを編集できます。



**カスタムプロトコル:** 最大 10 のカスタムプロトコルオプションをサポートします。

**プロトコル名:** プロトコルの名前を設定します。

**ストリーム有効:** サブストリームを有効にする場合は、このチェックボックスをオンにします。

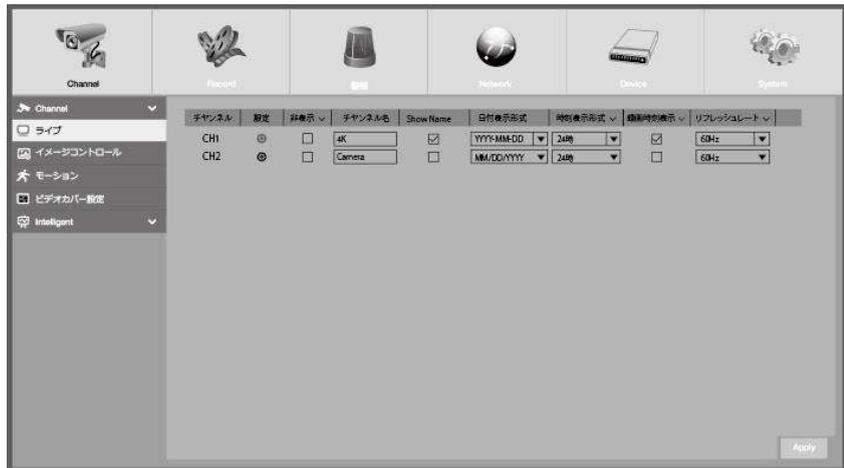
**タイプ:** 今すぐ利用可能な RTSP のみ

**ポート:** IP カメラの RTSP ポートを入力します。

**リソースパス:** IP カメラの RTSP アドレスを入力してください。

### 5.1.3 ライブ

カメラのパラメータを設定します。



**チャンネル:** チャンネル名

**設定:**  設定ページのアイコンをクリックします。

チャンネル

チャンネル名

日付表示形式

時刻表示形式

リフレッシュレート

Show Name

録画時刻表示

色相

輝度

コントラスト

彩度

設定するチャンネルを選択する

カメラに名前をつける

カメラに表示する日付形式

カメラに表示する時間形式

カメラのリフレッシュレート

Show Name  
ライブビュー画面でカメラ名を表示する。

録画時刻表示  
ライブビュー画面でシステム時刻を表示する。

色相値を調整する

輝度値を調整する

コントラスト値を調整する

彩度を調整します

デフォルトをクリックしてデフォルト設定をロードし、[APPLY]をクリックして設定を保存し、マウスの右ボタンをクリックして終了します。

## 5.1.4 イメージコントロール

サポートされている IP カメラの画像設定を制御できます。



チャンネル: チャンネル名

設定:  クリックして設定画面に入ります

チャンネル	CH1
赤外線カットモード	GPIO自動
赤外線カット遅延	<input type="range" value="2"/>
<input type="checkbox"/> レンズフリップ	<input type="checkbox"/> アングルフリップ
Angle Trad	180
バックライト	無効
3Dノイズリダクション	Auto
レベル	<input type="range" value="128"/>
WDR	無効
AGC	Middle
ホワイトバランス	Auto
ツヤツタ	Auto
Defog Mode	Auto
<input type="button" value="デフォルト"/>	

設定するチャンネルを選択する

昼・夜において適切なモードに選択します

IR-CUT 切り替えの遅延時間を設定する

レンズフリップとアングルフリップを可能にする  
フリップ角度を設定する

バックライト補正を有効または無効にする

バックライト補正レベルを選択する

3DNR を有効または無効にする

3DNR レベルを設定する

明るい光源で暗闇の中で撮影するときビデオの明るさとコントラストを自動的に調整できるようにする。

WDR レベルを設定する

オートゲインコントロール

ホワイトバランス調整

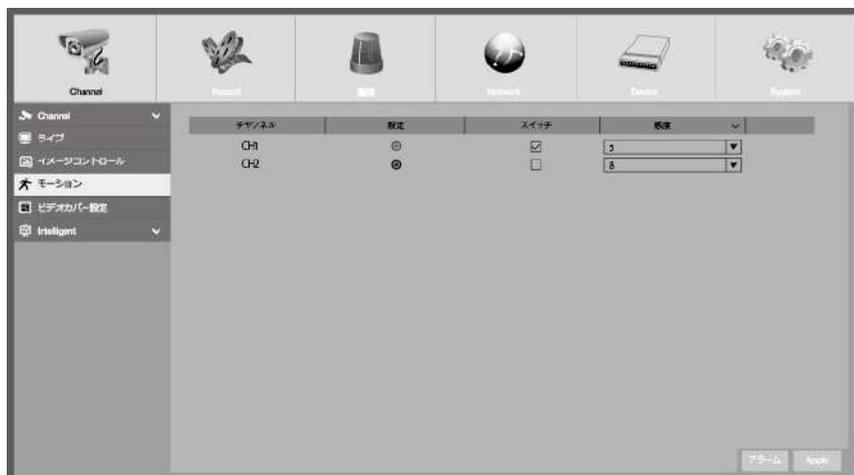
シャッターモードを設定する

カメラの露出時間を選択する

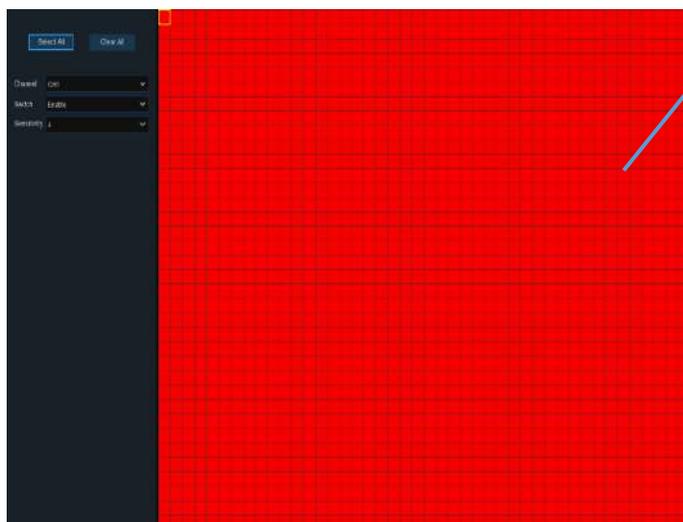
霧の多い環境で画像品質を改善する

## 5.1.5 モーション検知

モーションパラメータを設定できます。1つまたは複数のカメラで動きが検出されると、NVRはモーションを検知し警告します。カメラから添付された画像を電子メールで送信し、（このオプションが有効な場合）、またはモバイルアプリ経由でプッシュ通知を送信することができます。



**Setup:**  アイコンをクリックし、設定ページに追加します。



**モーション検知エリア:**

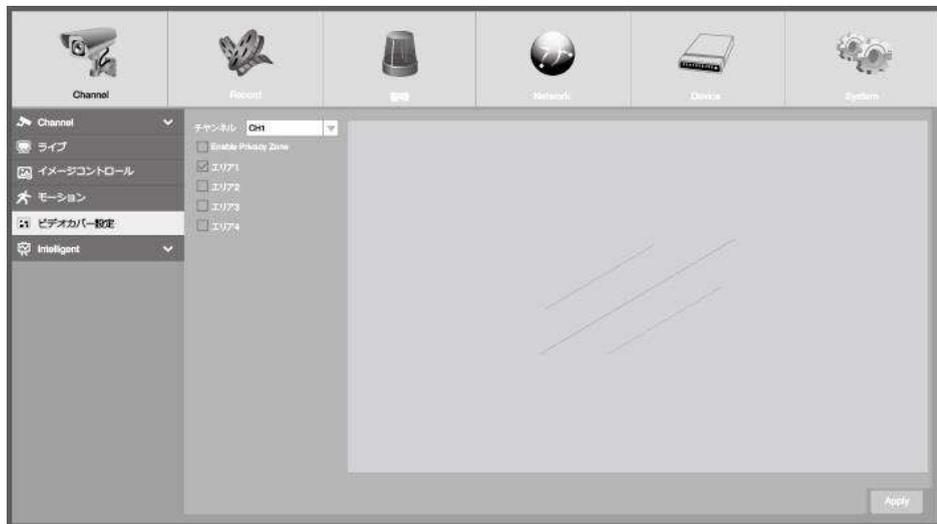
画面全体に動き検出用のマークが付いています（赤いブロック）。特定の領域でモーション検出を無効にする場合は、グリッドカーソルをクリックし、マウスをドラッグして範囲を強調表示し、領域を透明ブロックにマークします。設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻るには[保存]をクリックしてください。エリア設定が有効です。

**スイッチ:** モーション検出を有効または無効にします。

**感度:** 感度レベルを設定します。レベル1は最低感度レベルであり、レベル8は最高感度レベルです。

## 5.1.6 ビデオカバー（モザイク）設定

このメニューでは、画像の一部にモザイクを作成することができます。カメラ画像の任意のサイズと場所に最大4つのモザイクを作成できます。モザイクを有効にし、必要なゾーンの数を選択します。ゾーンは「赤いボックス」として表示されます。赤い枠の端をクリックし、任意のサイズにドラッグしてプライバシーゾーンを作成します。



注：設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画ビデオの両方で非表示になります

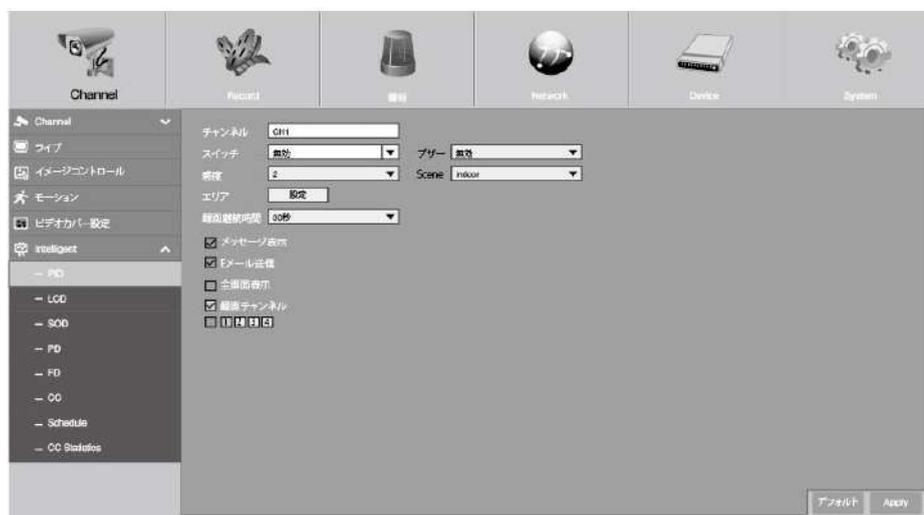
## 5.1.7 Intelligent

境界侵入検知機能、ライン交差検知、固定オブジェクト検知、歩行者検知、顔検出、およびクロスカウントを含むオプションのインテリジェント機能。（重複ができない機能がありますので各機能で使用ください）



### 5.1.7.1 PID（境界侵入検知機能）

境界侵入検知機能は、あらかじめ定義された仮想領域に入ったり来たりしている人、車両、またはその他の物体を検出し、アラームがトリガーされた時にいくつかの特定のアクションをとることができます。



**チャンネル:** 設定するチャンネルを選択してください

**スイッチ:** PID 機能を有効または無効にする

**ブザー:** 検出がトリガーされたときにブザーが 10, 20, 40、または 60 秒でアラーム音を鳴らすようにするかどうかを設定する

**感度:** 感度レベルは 1~4 です。高感度であれば、検出をトリガーするのが容易になります。

**Scene:** シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選んでください。

**Area:** [設定]をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。

**録画継続時間:** イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。

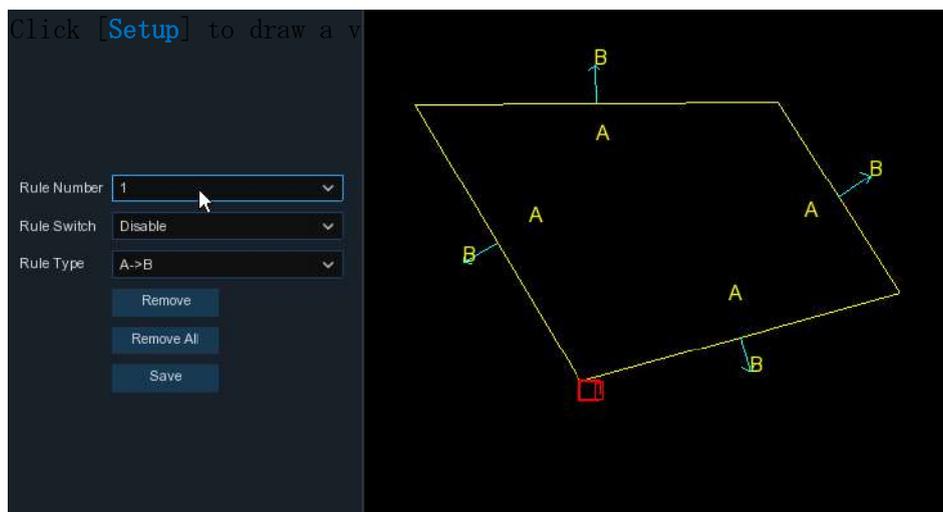
**メッセージ表示:** PID 機能が起動されると、画面に文字 “S” が表示されます。

**E メール送信:** アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに送信されます

**全画面表示:** 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。

**録画チャンネル:** 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

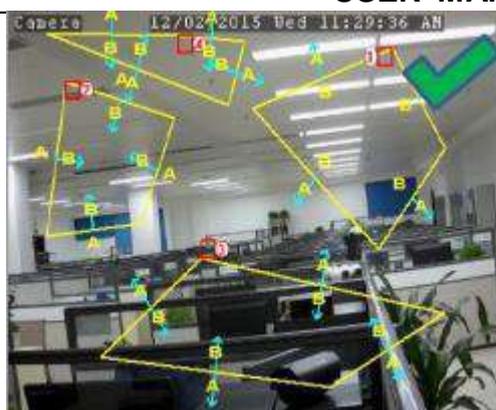
**エリア (設定)** ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. **Rule Number:** PID 領域の番号を選択します。PID 機能に設定できるのは最大 4 エリアです。
2. **Rule Swith:** ルールスイッチで検出を有効にする。
3. **Rule Type:** ルールタイプを選択する  
 A→B: NVR はサイド A からサイド B へのアクションのみを検出します。  
 B→A: NVR はサイド B からサイド A へのアクションのみを検出します。  
 A↔B: NVR は、B 面から A 面へ、または A 面から B 面への動作を検出します。
4. マウスをクリックしてカメラ画像内の 4 点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域の位置や鮮明度を変更する場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長押しして領域の位置を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域の 1 つを削除する場合は、その領域内の赤いボックスをクリックし、「Remove」ボタンをクリックします。[Remove All] をクリックすると、すべての領域が削除されます。

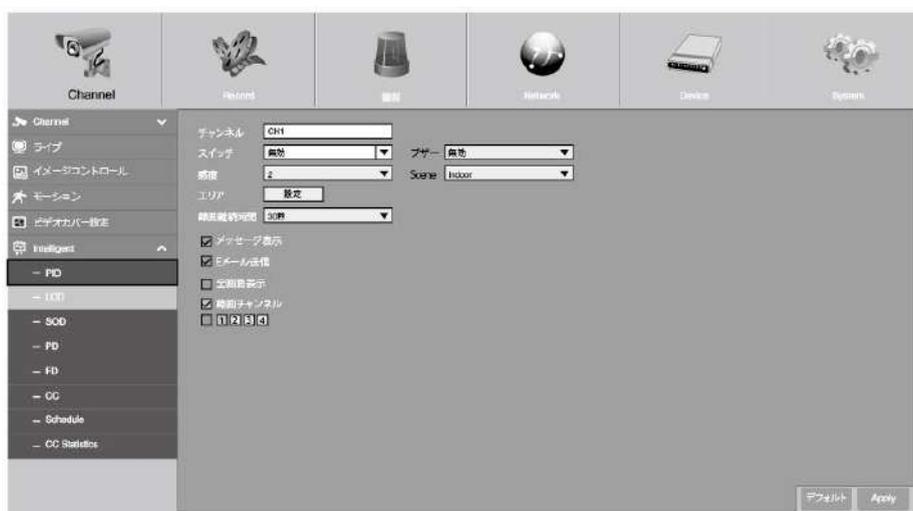
**通知:**

- 1) ターゲットがエッジ/コーナーを通過するときに検出をトリガーすることができないため、周囲はカメラ画像のエッジ/コーナーにあまり近づけてはならない。
- 2) 標的が周囲の外を通過するときに検出を引き起こすことができないので、領域の形状はあまりにも狭く/小さくしてはならない。



### 5.1.7.2 LCD (ライン交差検知)

ライン交差検出機能は、あらかじめ定義された仮想線を横切る人、車両、または他の物体を検出し、アラームがトリガーされた時にいくつかの特定のアクションをとることができます。



**チャンネル:** 設定するチャンネルを選択してください

**スイッチ:** LCD 機能を有効または無効にする

**ブザー:** 検出がトリガーされたときにブザーが 10, 20, 40、または 60 秒でアラーム音を鳴らすようにするかどうかを設定する

**感度:** 感度レベルは 1~4 です。高感度であれば、検出をトリガーするのが容易になります。

**Scene:** シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選んでください。

**Area:** [設定]をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。

**録画継続時間:** イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。

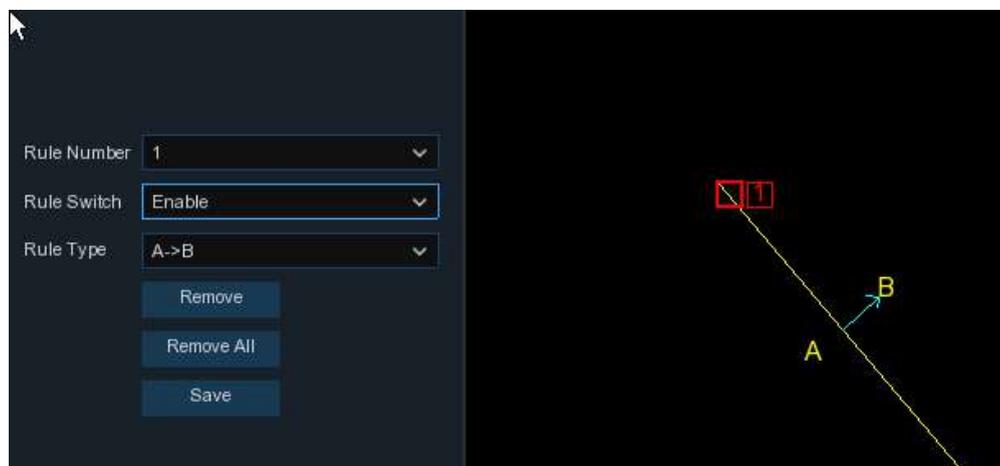
**メッセージ表示:** LCD 機能がトリガーされると、文字 "S" が画面に表示されます。

**Eメール送信:** アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに送信されます

**全画面表示:** 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。

**録画チャンネル:** 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

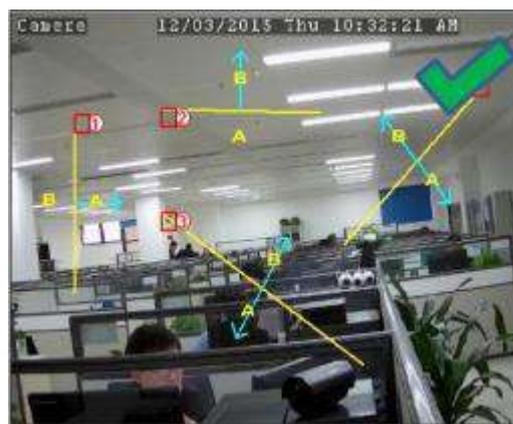
**エリア (設定)** ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. **Rule Number:** LCD行のいずれかを選択します。 描くことができる線は、最大4行です。
2. **Rule Switch:** ルールスイッチで検出を有効にする
3. **Rule Type:** ルールタイプを選択します。  
 A→B : NVR はサイド A からサイド B へのアクションのみを検出します。  
 B→A : NVR はサイド B からサイド A へのアクションのみを検出します。  
 A⇔B : NVR は、B 面から A 面へ、または A 面から B 面への動作を検出します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の 2 つの点をクリックして仮想線を描きます。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 行の位置や長さを変更する場合は、行の赤いボックスをクリックすると、行の色が赤色に変わります。 マウスの左ボタンを長く押して行を移動するか、端子をドラッグして行の長さまたは位置を変更します。
7. カメラの画像から線の 1 つを削除する場合は、線の赤いボックスをクリックし、[Remove] ボタンをクリックします。 [Remove All] をクリックすると、すべての行が削除されます。

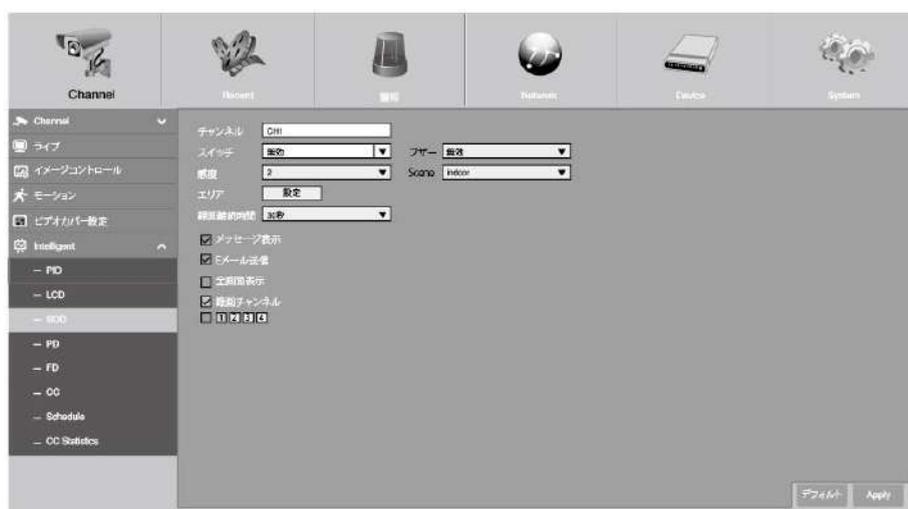
**通知 :**

- 1) ターゲットがカメラを通過したときにアラームをトリガーするのを避けるため、ラインはカメラ画像の端にあまり近づけてはならない。
- 2) 標的が外に出たときに警報を発しないようにするには、線を短くしてはならない。



### 5.1.7.3 SOD（静止物体検知機能）

静止物体検出機能は、手荷物、財布、危険物などの予め定義された領域に残っている物体または紛失した物体を検出し、アラームが発せられたときに一連の動作を行うことができる。



**チャンネル**： 設定するチャンネルを選択してください

**スイッチ**： SOD 機能を有効または無効にする

**ブザー**： 検出がトリガーされたときにブザーが 10, 20, 40、または 60 秒でアラーム音を鳴らすようにするかどうかを設定する

**感度**： 感度レベルは 1~4 です。高感度であれば、検出をトリガーするのが容易になります。

**Scene**： シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選んでください。

**Area**： [設定]をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。

**録画継続時間**： イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。

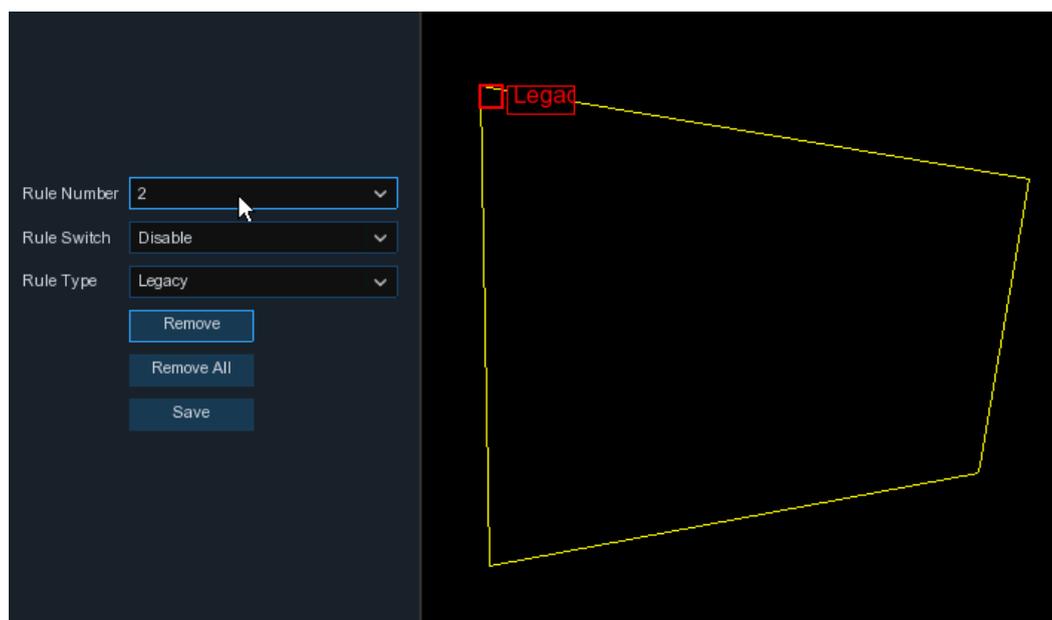
**メッセージ表示**： SOD 機能がトリガーされると、文字 "S" が画面に表示されます。

**E メール送信**： アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに送信されます

**全画面表示**： 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。

**録画チャンネル**： 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

**エリア（設定）** ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. **Rule Number:** SOD面積の数を選択します。 SOD機能に設定できる最大4つのエリアです。
2. **Rule Switch:** ルールスイッチで検出を有効にする。
3. **Rule Type:** ルールタイプを選択する  
Legacy: NVR は残留した物体のみを検出します。  
Lost: NVR は失われた物体のみを検出します。  
Legacy & Lost: NVR は、残留した物体と失われた物体の両方を検出します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の4つの点をクリックして仮想領域を描画します。 領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。 凹面多角形は保存できません。
5. [保存]をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整したい場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変わります。 マウスの左ボタンを長く押し続けて領域全体を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域の1つを削除する場合は、その領域内の赤いボックスをクリックし、「Remove」ボタンをクリックします。 [Remove All]をクリックすると、すべての地域が削除されます。

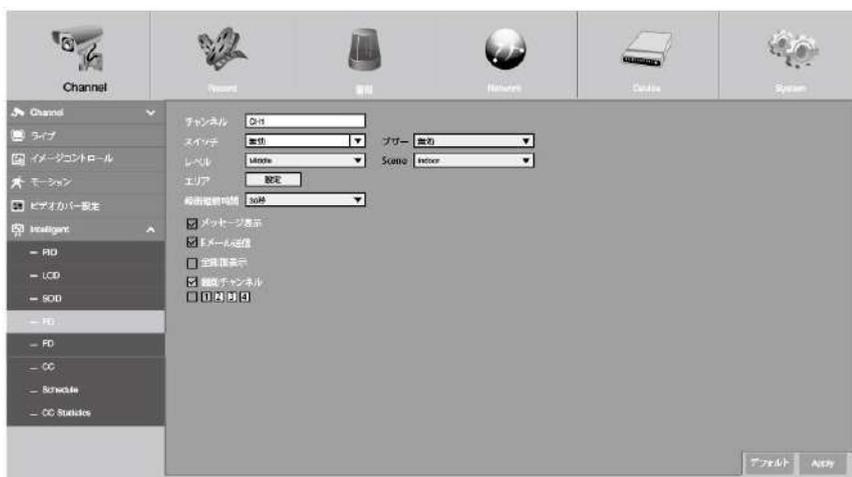
通知：

- 1) 検出領域は、白いボトルの検出など、検出された物体のサイズ以上でなければなりません。
- 2) 検出された物体はカバーできません。



### 5.1.7.4 PD (歩行者検知機能)

歩行者検出機能は、あらかじめ定義された領域内の移動する人を検出し、アラームがトリガーされたときに一連のアクションを実行することができます。



**チャンネル:** 設定するチャンネルを選択する

**スイッチ:** PD 機能を有効または無効にする

**ブザー:** 検出がトリガーされたときに、ブザーが 10, 20, 40、または 60 秒でアラーム音を発することを無効または有効にする

**レベル:** HIGH・MIDDLE・LOW の遠距離の物体を検出するには、小さなレベルをお勧めします。 短距離で物体を検出するには、大きなレベルをお勧めします。

**Scene:** シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。 カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。

**Area:** [設定]をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。

**録画継続時間:** イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。

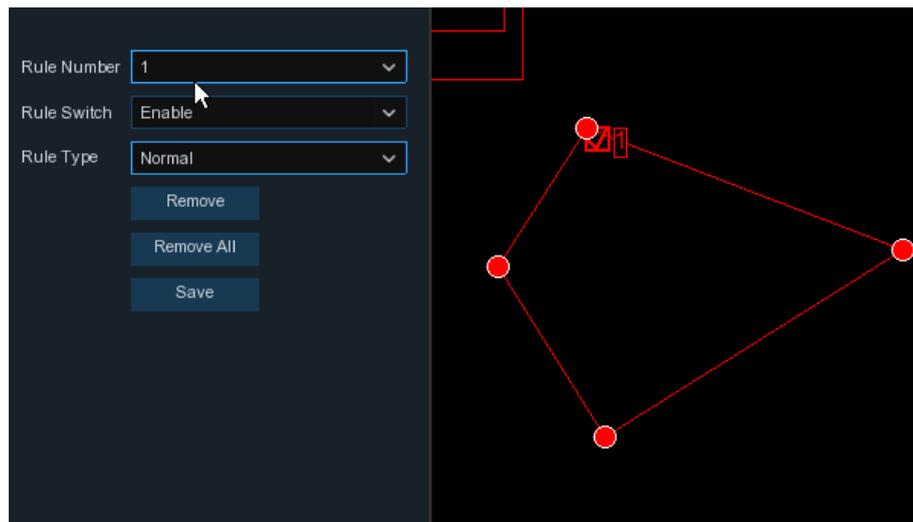
**メッセージ表示:** PD 機能がトリガーされると、文字 "S" が画面に表示されます。

**Eメール送信:** アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアドレスに送信されます

**全画面表示:** 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。

**録画チャンネル:** 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

エリア (設定) ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



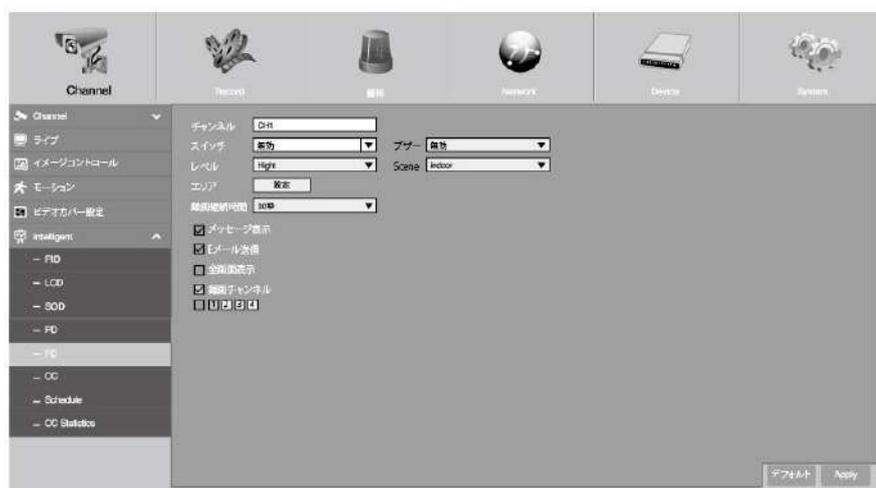
1. ルール番号の1つを選択します。PD領域の数です。PD機能に設定できる最大4エリアです。
2. ルールスイッチで検出を有効にする。
3. ルールタイプを選択し、この検出に使用可能な標準のみを選択します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の4つの点をクリックして仮想領域を描画します。領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存]をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整したい場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押し続けてリージョン全体を移動するか、コーナーをドラッグしてリージョンのサイズを変更します。
7. カメラ画像からリージョンの1つを削除する場合は、そのリージョン内の赤いボックスをクリックし、「Remove」ボタンをクリックします。[Remove All]をクリックすると、すべての地域が削除されます。

通知：

- 1) 検出地域は、人が到達できない地域にあってはならない。
- 2) 検出された人々は、この地域に完全に囲まれている必要があります。



### 5.1.7.5 FD (顔検出機能)



顔検出機能は、動く人々の顔があらかじめ定義された領域に現れることを検出し、アラームがトリガーされたときに一連のアクションを実行することができます。

**チャンネル:** 設定するチャンネルを選択する

**スイッチ:** FD 機能を有効または無効にする

**ブザー:** 検出がトリガーされたときに、ブザーが 10 秒、20 秒、40 秒、または 60 秒でアラームトーンを発することを無効または有効にする

**レベル:** 大・中・小の遠距離の物体を検出するには、小さなレベルをお勧めします。短距離で物体を検出するには、大きなレベルをお勧めします。

**Scene:** シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。

**エリア:** [設定]をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。

**録画継続時間:** イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。

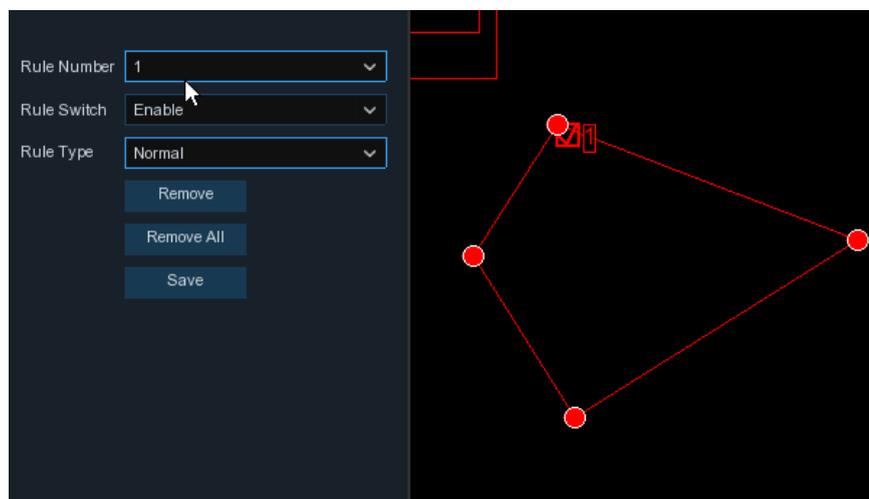
**メッセージ表示:** インテリジェント検出がトリガーされたときは、画面に文字「S」が表示されます。

**E メール送信:** アラームが発生すると、電子メールがプリセット電子メールアカウントに送信されます

**全画面表示:** 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。

**録画チャンネル:** 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

**エリア (設定)** ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. ルール番号のいずれかを選択します。FDエリアの数です。FD機能に設定できる最大4つの領域。
2. ルールスイッチで検出を有効にする
3. ルールタイプを選択し、この検出に使用可能な標準のみを選択します
4. マウスを使用して、カメラ画像の4つの点をクリックして仮想領域を描画します。領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存]をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整したい場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押してリージョン全体を移動するか、コーナーをドラッグしてリージョンのサイズを変更します。
8. カメラ画像からリージョンの1つを削除する場合は、そのリージョン内の赤いボックスをクリックし、「削除」ボタンをクリックします。[すべて削除]をクリックすると、すべての地域が削除されます。

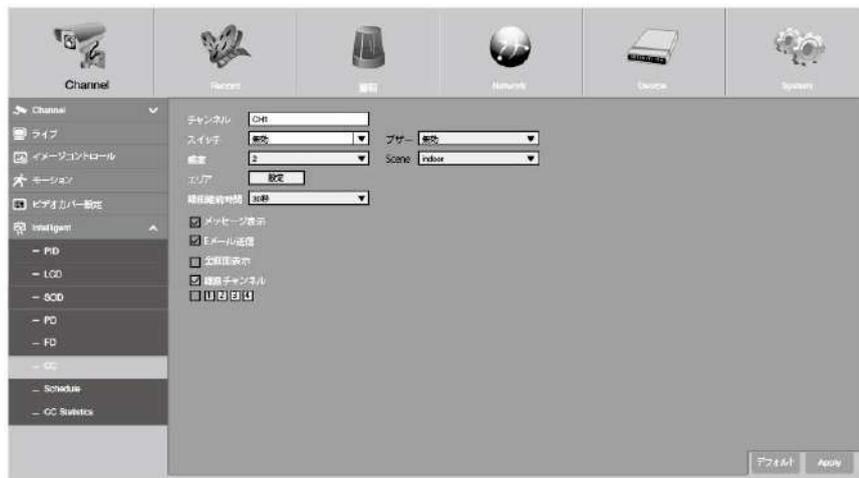
**通知 :**

- 1) 検出地域は、人が到達できない地域にあってはならない。
- 2) この領域には完全な前面が含まれている必要があります。



### 5.1.7.6 CC (クロスカウント機能)

クロスカウント機能は、オブジェクトや人が仮想線を横切って移動する時間をカウントします



**チャンネル:** 設定するチャンネルを選択する

**スイッチ:** CC機能を有効または無効にする

**ブザー:** 検出がトリガーされたときに、ブザーが10秒、20秒、40秒、または60秒でアラームトーンを発すること  
を無効または有効にする

**感度:** 感度レベルは1~4で、デフォルト値は2です。高感度であれば検出が容易になります。

**Scene:** シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。

**Area:** [設定]をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。

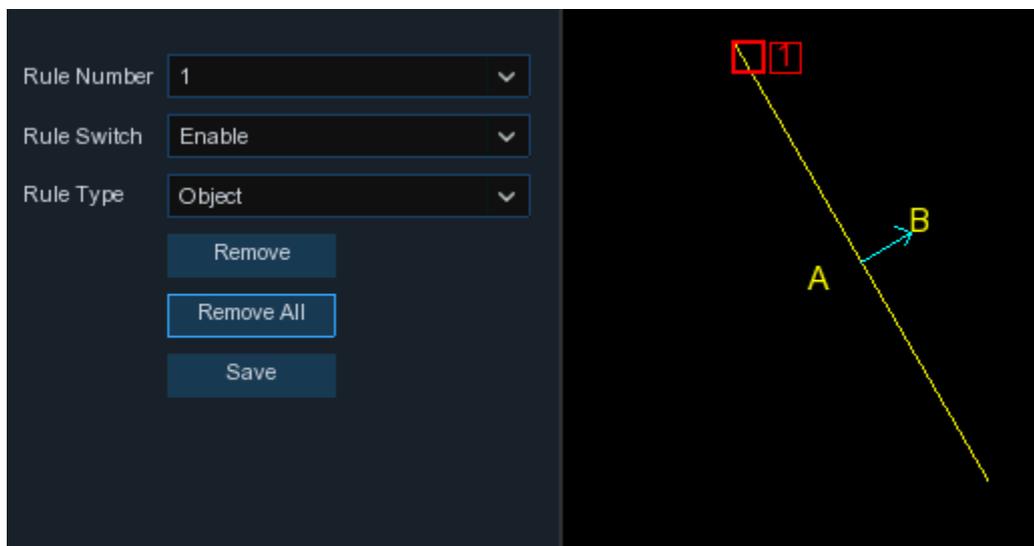
**録画継続時間:** イベントが発生してからNVRが記録を続ける時間を設定できます。

**メッセージ表示:** インテリジェント検出がトリガーされたときは、画面に文字「S」が表示されます。

**Eメール送信:** アラームが発生すると、電子メールがプリセット電子メールアカウントに送信されます

**全画面表示:** 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。

**録画チャンネル:** 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。描くことができる仮想線の数です。最大4行
2. ルールスイッチで検出を有効にする。
3. ルールタイプを選択する
  - Object:** 動いているオ物体だけがカウントされます。
  - Pedestrian:** 動いているオブジェクトだけがカウントされます。
4. マウスを使用して、カメラ画像の2つの点をクリックして仮想線を描きます。サイドAからサイドBはEnter、サイドBからサイドAはExitです。
5. [保存]をクリックして設定を保存します。
6. 行の位置や長さを変更する場合は、行の赤いボックスをクリックすると、行の色が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押して行を移動するか、端子をドラッグして行の長さまたは位置を変更します。
7. カメラの画像から線の1つを削除する場合は、線の赤いボックスをクリックし、[削除]ボタンをクリックします。[すべて削除]をクリックすると、すべての行が削除されます。

## 通知:

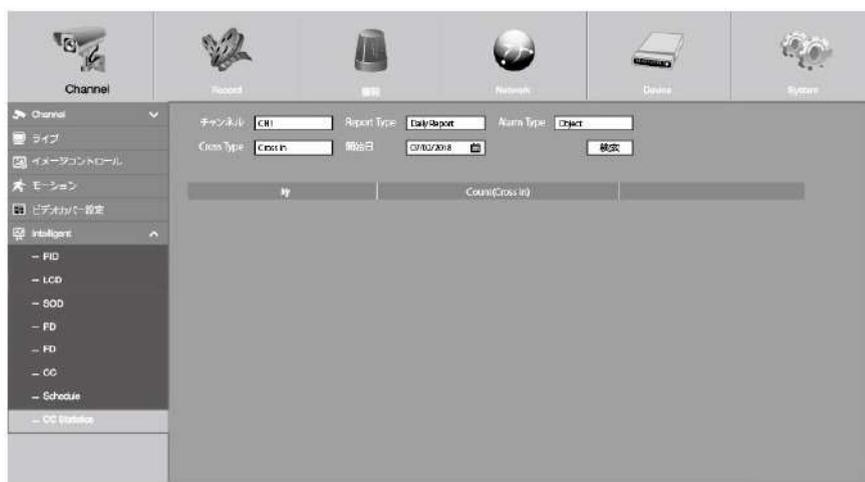
- 1) ターゲットがカメラを通過したときにアラームをトリガーするのを避けるため、ラインはカメラ画像のエッジにあまり近づけてはならない。
- 2) 線は、検出されたオブジェクトが到達できる領域になければなりません。
- 3) ターゲットが外に出たときに警報を発しないように、線は短く設定してはならない。



インテリジェント分析で、クロスカウントの統計結果を検索して表示することができます。

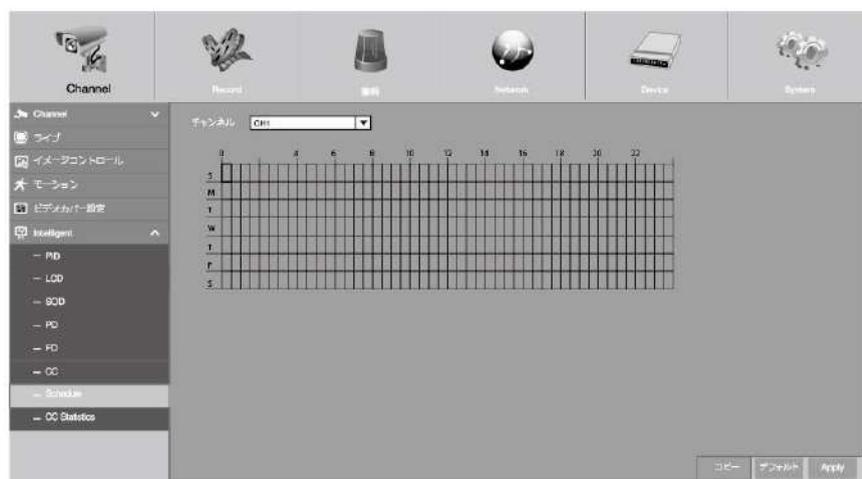
参照 : 5.1.8.7

### 5.1.7.7 CC Statistics



Cross In&Cross Out の統計結果は、日 / 週 / 月 / 年で照会することができます。

### 5.1.7 .8 Intelligent Schedule



インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは24時間×7日間有効です。

スケジュールを設定するには、1つのチャンネルを選択し、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。タイムスロット内の空色のブロックは、インテリジェント検出のためにアクティブになります。スケジュールは、設定するたびに選択したチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルで同じスケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[保存]をクリックして設定を保存します。

## 5.2 録画

録画に関する設定をします。

### 5.2.1 Encode

録画ビデオまたはネットワーク伝送の画質を設定できます。一般的に、メインストリームは、HDD に保存される録画画像の画質を定義します。サブストリームは、Web クライアントや CMS などのリモートアクセスを介して表示されているビデオ品質を定義します。モバイルストリームは、モバイルデバイス経由でリモートアクセスを介して視聴されている画像の画質を定義します。



**解像度:** 記録される画像の大きさを定義します。

**FPS:** NVR が記録する 1 秒あたりのフレーム数を定義します。

**Video Encode Type:** NVR は H.264 及び H.265 を選択します。

**Bitrate Control:** ビットレートレベルを選択します。灰色の壁などの単純なシーンでは、適切な定ビットレート (CBR) が適しています。動きの多い通りなどのより複雑なシーンでは、適切な可変ビットレート (VBR) が適しています。

**ビットレート モード:** 自分でビットレートを設定する場合は、[ユーザー定義モード]を選択します。定義済みのビットレートを選択する場合は、事前定義モードを選択します。

**ビットレート:** NVR がビデオの記録に使用するデータ転送の速度に対応します。より高いビットレートでエンコードされたレコーディングは、より良い品質になります。

**音声:** 音声の有効/無効

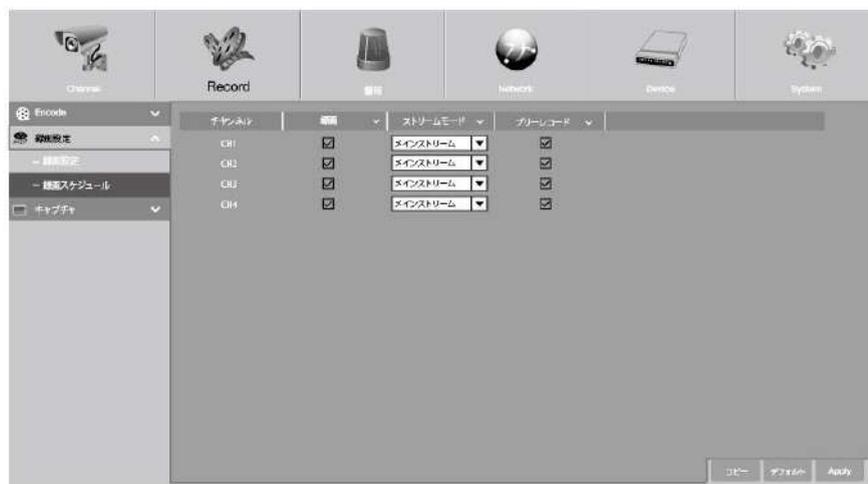
※4K のカメラを入力する場合

カメラの認識はしますが解像度設定を必ず 500 万画素以下に設定してください  
レコーダーはカメラの情報を元に 4K 解像度で録画をしようとしてエラーが出ますので  
必ず変更してください

## 5.2.2 録画設定

各カメラの録画設定が行えます。

### 5.2.2.1 録画



**録画:** チェックを入れ、各チャンネルで録画を有効にします。

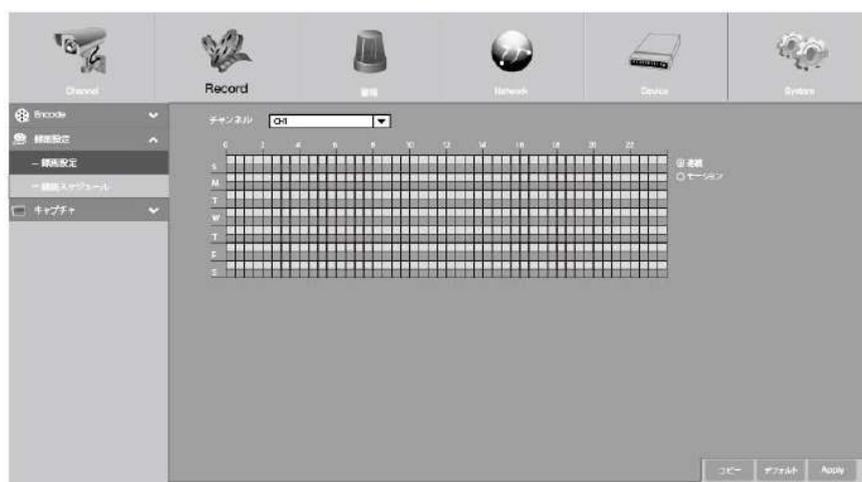
**ストリームモード:** 録音品質を選択します。 DualStream を選択すると、システムはメインストリームとサブストリームの両方に録画します。

**プリレコード:** このオプションを有効にすると、NVR はアラームイベントが発生する数秒前に録画を開始します。

プライマリ録画タイプがモーション録画場合は、このオプションを使用します。

## 5.2.2.2 録画スケジュール

NVR がビデオを記録するタイミングを指定し、各チャンネルの記録モードを定義します。録画スケジュールでは、通常（連続）録画、モーション録画、など、毎日、毎時などのスケジュールを設定できます。録画スケジュールは1つのチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルで同じ録画スケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[Apply]をクリックして設定を保存します。



**チャンネル**: 録画スケジュールを設定するチャンネルを選択します。

**連続**: 連続録画を選択すると、タイムスロットが緑色にマークされます。

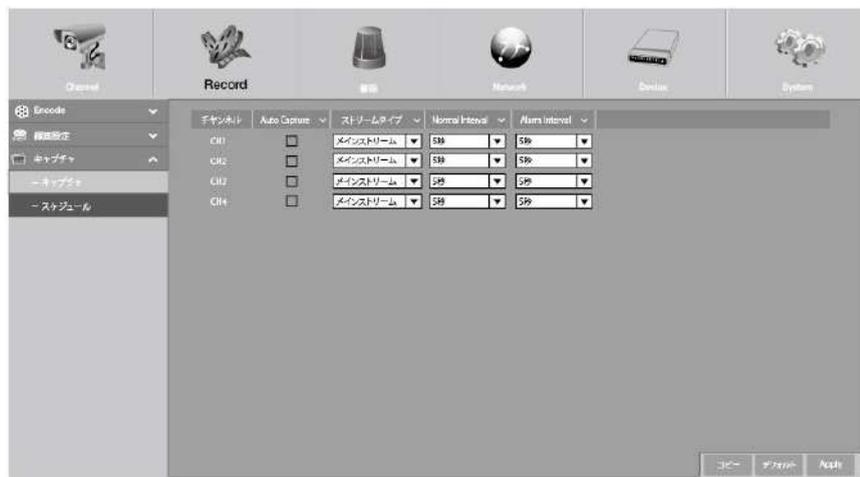
**モーション**: モーション録画（動体検知）を選択すると、タイムスロットが黄色にマークされます。

**No Record**: 録画しない場合、黒色で表示されます。

## 5.2.3 キャプチャー

このメニューでは、画像キャプチャー機能を設定できます。

### 5.2.3.1 キャプチャー



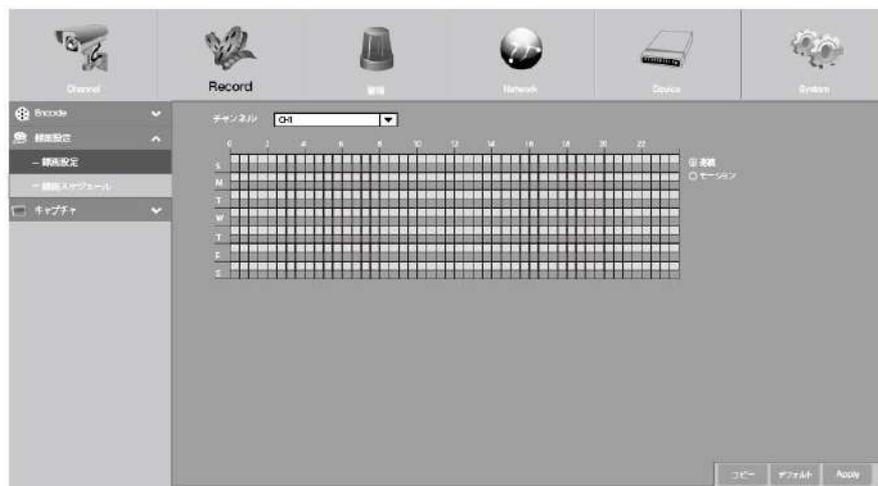
**Auto Capture:** チャンネルの自動キャプチャーを有効または無効にします。

**ストリームチャンネル:** メインストリームまたはサブストリームによる画像解像度を選択します。

**Normal Interval:** 通常の録画で画像をキャプチャーする時間間隔。

**Alarm Interval:** 動き、PIRがトリガーされたときに画像をキャプチャーする時間間隔

### 5.2.3.2 キャプチャスケジュール



**チャンネル:** キャプチャーを設定するチャンネルを選択します。

**連続:** 連続キャプチャーを選択すると、タイムスロットが緑色にマークされます。

**モーション:** モーションキャプチャー（動体検知）を選択すると、タイムスロットが黄色にマークされます。

**No Record:** 録画しない場合、黒色で表示されます。

## 5.3 アラーム

これらのセクションでは、アラームパラメータを設定できます。

### 5.3.1 モーションアラーム設定

5.1.5 モーションを参照願います。（同じ動作です）

### 5.3.2 PTZ Linkage

PTZ カメラを接続していれば、PTZ カメラとモーションアラームのリンクを設定できます。リンケージ機能を使用すると、モーションが発生したときに PTZ カメラの焦点をプリセットポイントに合わせるすることができます。



**スイッチ:** PTZ リンケージ機能を有効または無効にします。

**モーション:** モーション検知アラームは PTZ リンケージ機能をトリガーします。

**PTZ:** アイコンをクリックすると、PTZ カメラがプリセットポイントに関連付けられます。プリセットポイントを 5.1.4.1 PTZ コントロールで表示します。

### 5.3.3 Exception

このメニューでは、NVR に通知するイベントの種類を設定できます。



**イベントタイプ:** 以下のオプションからイベントタイプを選択してください:

- HDD 残り容量無し:** HDD が一杯になったとき。
- HDD エラー:** HDD が正しく検出されない場合。
- ビデオロス:** カメラが正しく接続されていない場合。

**スイッチ:** チェックボックスをオンにすると、イベントの監視が有効になります。

**ブザー:** イベント発生時のブザー時間を設定します（オフ / 10 秒 / 20 秒 / 40 秒 / 60 秒）。

ブザーを無効にするには、OFF を選択します。

**メッセージ表示:** ディスクに空き領域がない、ディスクエラーまたはビデオ損失イベントが発生した場合は、このボックスをチェックして、画面にメッセージを表示します。

**Eメール送信:** イベントが発生したときに NVR に自動メールを送信させてください。

## 5.4 Network

このメニューでは、PPPoE、DHCP などのネットワークパラメータを設定できます。最も一般的なタイプは DHCP です。インターネットユーザー名とパスワードが必要な場合は、[PPPoE]を選択します。

### 5.4.1 全般的設定



DHCP を使用できるルーターに接続する場合は、DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは NVR のすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てます。

**IP アドレス:** IP アドレスは、ネットワーク内の NVR を識別します。ピリオドで区切られた 0~255 の 4 つの数字のグループで構成されています。たとえば、"192.168.001.100"となります。

**サブネットマスク:** サブネットマスクは、ネットワークで使用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。サブネットアドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの数字のグループで構成されています。たとえば、"255.255.000.000"となります。

**ゲートウェイ:** このアドレスにより、NVR はインターネットにアクセスできます。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレスと同じです。たとえば、"192.168.001.001"となります。

**DNS1/DNS2:** DNS1 はプライマリ DNS サーバーで、DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。通常、DNS1 サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

### 5.4.4.1 PPPoE

The screenshot shows the 'Network' configuration page in the NVR web interface. The 'PPPoE' section is active, and the 'Enable PPPoE' checkbox is checked. The configuration fields are as follows:

Enable PPPoE	<input checked="" type="checkbox"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/> <input type="checkbox"/> Show Password
IPアドレス	192.168.024.116
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.024.001
DHCP1	192.168.024.001
DHCP2	008.008.008.008

Buttons for 'リセット' (Reset) and '適用' (Apply) are visible at the bottom right.

NVRがDSLモデム経由でネットワークに直接接続できるようにする高度なプロトコルです。

[PPPoEを有効にする]チェックボックスをオンにして、PPPoEのユーザー名とパスワードを入力します。[Apply]をクリックして保存すると、PPPoE設定を有効にするためにシステムが再起動します。

### 5.4.1.3 Port Configuration

The screenshot shows the 'Port Configuration' page in the NVR web interface. The configuration fields are as follows:

Web port	00080
クライアントポート	00000
Response port	00554
命令	
# Characters: f, resp, apcn, ap, kb	
ACL (eth0, 024.024)	
## (train, saeman, Youba, saeman)	
UPnP	<input type="checkbox"/>
P2P Switch	<input checked="" type="checkbox"/>

Buttons for 'リセット' (Reset) and '適用' (Apply) are visible at the bottom right.

**Web Port:** NVRにリモートでログインするために使用するポートです（Webクライアントなど）。既定のポート80が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

**クライアントポート:** NVRが情報を送信するために使用するポートです。既定のポート9000が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

**RTSPポート:** デフォルトのポート554が既に他のアプリケーションによって使用されている場合、変更してください。デフォルトは554です。

**UPnP:** Web Clientを使用してNVRにリモートログインする場合は、ポート転送を完了する必要があります。ルーターがUPnPをサポートしている場合は、このオプションを有効にします。NVRとルーターの両方でUPnPを有効にする必要があります。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターがUPnPをサポートしていない場合は、ポート転送が手動で完了していることを確認してください。

## 5.4.2 DDNS

DDNS 設定を行うことができます。DDNS は静的アドレスを提供し、NVR へのリモート接続を簡素化します。DDNS を使用するには、まず DDNS サービスプロバイダの Web ページでアカウントを作成する必要があります。



**DDNS:** DDNS を有効にする場合にオンにします。

**サーバー:** DDNS サーバー (DDNS\_3322、DYNDNS、NO\_IP、CHANGEIP、DNSEXIT) を選択します。

**ドメインネーム:** DDNS サービスプロバイダの Web ページで作成したドメイン名を入力します。これは、PC 経由で NVR にリモート接続するとき URL ボックスに入力するアドレスになります。例: NVR.no-ip.org

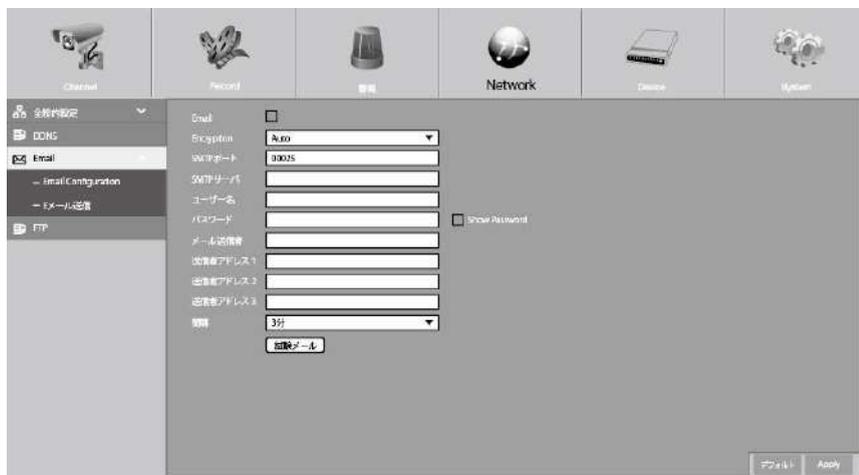
**ユーザー名/パスワード:** DDNS サービスプロバイダの Web ページでアカウントを作成する際に取得したユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのパラメータを入力したら、「DDNS のテスト」をクリックして DDNS 設定をテストします。

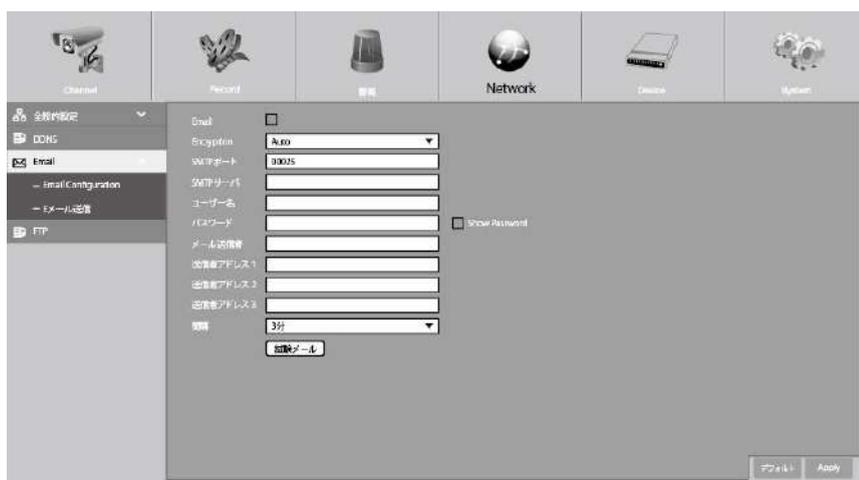
テスト結果が「Network is unreachable or DNS is incorrect」の場合、ネットワークが正常に動作しているか、DDNS 情報が正しいかどうかを確認してください。

## 5.4.3 Email

このメニューでは電子メールの設定を行うことができます。アラームが発生したり、HDD がいっぱいになったり、HDD がエラー状態になったり、ビデオロスが発生したりすると、電子メールでシステム通知を受信したい場合は、これらの設定を完了してください。



### 5.4.3.1 Email Configuration



**Email:** オンにして有効にします。

**Encryption:** 電子メールサーバーで SSL または TLS の検証が必要な場合に有効にします。

わからない場合は、Auto に設定します。

**SMTP ポート:** 電子メールサーバーの SMTP ポートを入力します。

**SMTP サーバー:** 電子メールの SMTP サーバーアドレスを入力します。

**ユーザー名:** メールアドレスを入力してください。

**パスワード:** あなたの電子メールのパスワードを入力してください。

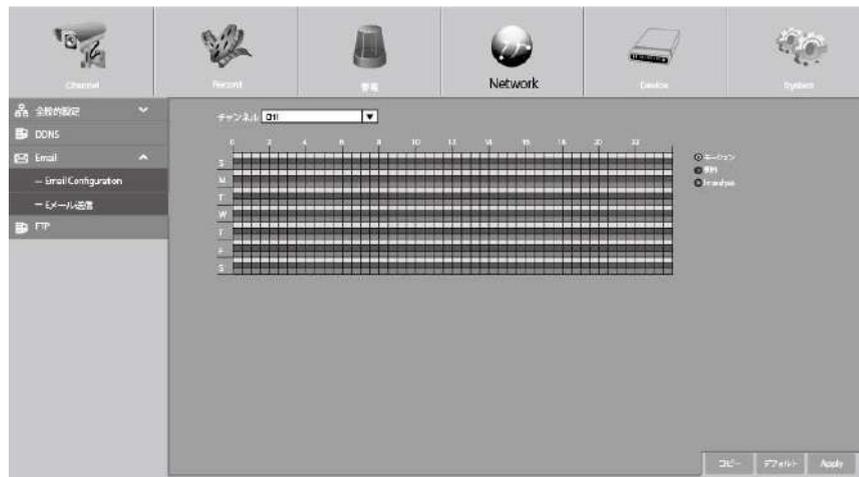
**受信者 1~3:** NVR からイベント通知を受信する電子メールアドレスを入力します。

**間隔**: NVR からの通知メール間の時間間隔の長さを設定します。

すべての設定が正しいことを確認するには、[試験メール]をクリックします。システムによって、受信トレイに自動化された電子メールメッセージが送信されます。テスト電子メールを受け取った場合は、設定パラメータが正しいことを意味します。

### 5.4.3.2 Email Schedule

電子メール通知を完全に実装するようにスケジュールを設定する必要があります。



電子メールスケジュールのカラーコードの意味は次のとおりです。

**緑**: モーション検出のためのスロット。

**赤**: 例外のためのスロット (HDD フル、HDD エラー、またはビデオ損失)。

**青**: インテリジェント分析検出のためのスロット。

## 5.4.4 FTP

FTP 機能を使用して、キャプチャーしたスナップショットを FTP 経由で NVR から読み込むことができます。



**FTP:** FTP 機能を有効にする場合にクリックします。

**サーバー IP:** FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

**ポート:** ファイル交換の FTP ポートを入力します。

**ユーザー名/パスワード:** FTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

**Directory Name:** FTP ファイル交換のデフォルトのディレクトリ名を入力します。

**Test FTP:** クリックして FTP 設定をテストします。

## 5. 5 Device

このセクションでは、内蔵 HDD 機能を設定することができます。

### 5. 5.1 ディスク管理

内蔵 HDD のチェックと設定ができます。新しい HDD を交換する場合、最初の起動時にのみ HDD をフォーマットする必要があります。



**HDD フォーマット:** フォーマットする HDD を選択し、【HDD フォーマット】をクリックします。フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックしてフォーマットを続行する必要があります。

**上書き設定:** このオプションを使用すると、HDD がいっぱいになったときに古い録画を上書きすることができます。

#### 5. 5. 1. 1 S. M. A. R. T

この機能を使用して、NVR 内部にインストールされたハードドライブに技術情報を表示することができます。潜在的なドライブエラーを評価および検出するためのテスト（使用可能な 3 つのタイプがあります）も実行できます。



**Self-check Type:** 使用可能なタイプは 3 つあります。

**Short:** 読取/書込ヘッド、電子機器、内蔵メモリーなどのハードドライブの主要コンポーネントを検証します。

**Long:** 問題のある領域（存在する場合）を明らかにするために表面スキャンを実行し、不良セクタの再配置を強制する長いテストです

**Conveyance:** ハードドライブの機械部品が動作していることを確認する非常に簡単なテストです。

**注:** テストを実行するとき、NVR は通常通り動作します。HDD S. M. A. R. T エラーが検出された場合、HDD は引き続き使用できますが、記録データを失う危険があります。新しい HDD を交換することをお勧めします。

## クラウド

本製品はクラウドに対応していません

### 5.6 System

日付、時間、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードと権限の編集など設定

#### 5.6.1 全般的な設定



**デバイス名:** NVR の名前を入力します。名前には、文字と数字の両方を含めることができます。

**デバイス ID:** NVR の ID を入力します。デバイス ID は、NVR を識別するために使用され、数値でしか構成できません。たとえば、2つの NVR が同じ場所にインストールされ、1つの NVR のデバイス ID は 000000、別の NVR のデバイス ID は 111111 です。リモートコントローラーで NVR を操作したい場合は、両方の NVR がコントローラーからの信号を受信することがあります

**同時間。** ID 111111 の NVR のみを制御したい場合は、リモートコントローラーを使用してログインページにデバイス ID 111111 を入力して操作できます

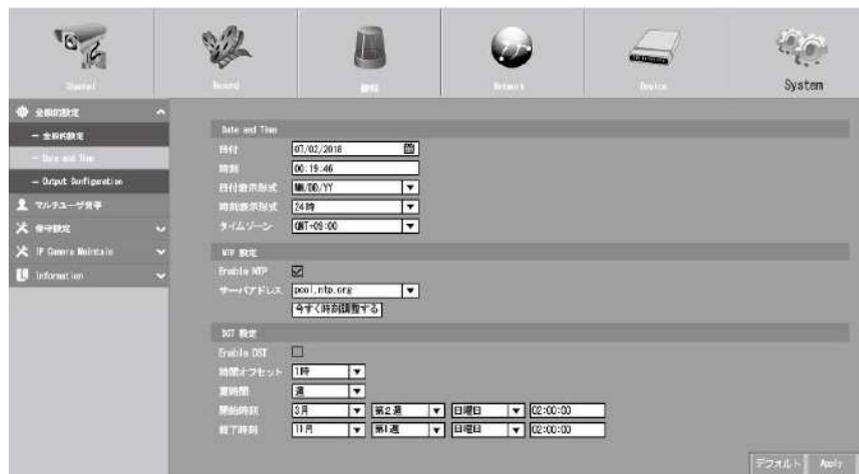
**言語:** システムメニューを表示する言語を選択します。複数の言語から使用できます。

**ビデオ形式:** NTSC 選択してください。

**メニュータイムアウト:** ドロップダウンメニューをクリックして、メインメニューを非表示にする時間を選択します。「オフ」を選択することで無効にすることもできます（パスワード保護は一時的に無効になります）。

**Show Wizard:** NVR をオンまたは再起動するたびに起動ウィザードを表示する場合は、チェックボックスをクリックします。

### 5.6.1.1 Date and Time



#### Date & Time

**Date:** カレンダーアイコンをクリックして日付を変更します。

**Time:** 時間を変更するには、ダイアログボックスをクリックします。

**Date Format:** 希望の日付形式を選択します。

**Time Format:** 希望の時刻形式を選択します。

**Time Zone:** あなたの地域や都市に関連するタイムゾーンを選択してください。（日本は GMT+09 : 00）

### 5.6.1.2 NTP Settings

NTP (Network Time Protocol) 機能を使用すると、NVR は自動的に時計をタイムサーバーと同期させることができます。これにより、常に正確な時刻設定を行うことができます (NVR は定期的に自動的に同期します)。



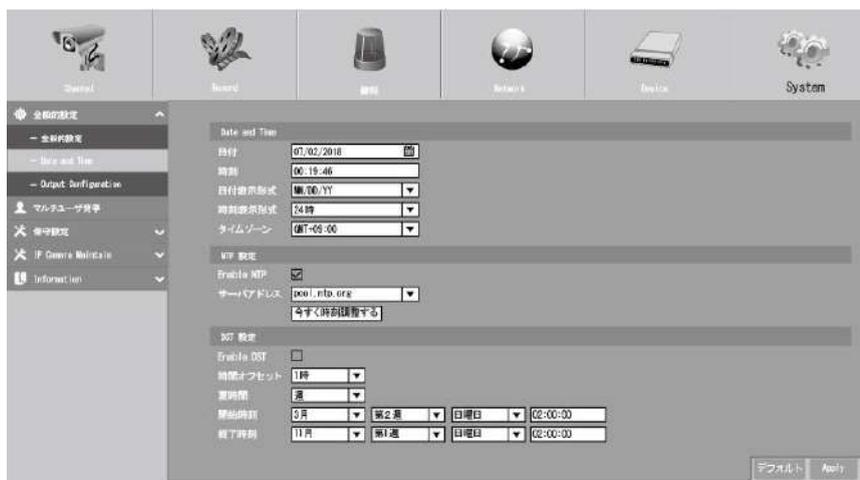
NTP を有効にする場合はオンにし、サーバーアドレスを選択したら、[今すぐ更新] をクリックして手動で日付と時刻を同期させます。

[Apply] をクリックして設定を保存します。

NTP 機能が有効になっていると、システムはシステム時刻を 00:07:50 に更新するか、システムが起動するたびに更新されます。

### 5.6.1.3 DST Settings

DST（夏時間）機能では、夏時間が特定の時間帯または地域で増加した時間を選択できます。



**Enable DST:** 夏時間の保存がタイムゾーンまたは地域に適用される場合は、このオプションをオンにして有効にします。

**Time Offset:** あなたのタイムゾーンでサマータイムが増加した時間を選択します。これは、協定世界時（UTC）と現地時間の差を分単位で表したものです。

**Enable DST:** 夏時間の開始と終了方法を選択できます：

**Week:** 月、夏時間の開始と終了を行う特定の曜日と時刻を選択します。たとえば、特定の月の第1日曜日の午前2時です。

**Date:** 開始日（カレンダーアイコンをクリック）、夏時間の開始と終了の終了日時を選択します。

**Start Time / End Time:** 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

## 5.6.2 Output Configuration

ビデオ出力パラメータを設定できます。



**Video Output:** 出力オプションを選択する

**LIVE-OUT** は、メイン出力パラメータの設定に使用されます。

### 5.6.2.1 LIVE-OUT



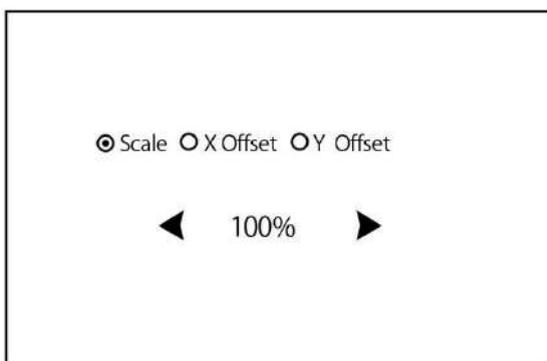
Video Output ドロップダウンメニューから LIVE-OUT を選択します。

**SEQ Mode:** NVR がシーケンスモードのときに表示するビデオチャンネルの数を選択します。

**SEQ Dwell Time:** 次のビデオチャンネルを表示する前にシーケンスモードでビデオチャンネルを表示する最大時間を秒単位で入力します（最大 300 秒）。

**Output Resolution:** テレビに適したディスプレイ解像度を選択してください。1920 x 1080 はほとんどのテレビに適しています。NVR が 4K の出力解像度をサポートしている場合は、2K (2560×1440) または 4K (3840×2160) のいずれかを選択して、4K テレビが提供する高解像度を利用できます。

**Scale and Offset:** NVR は、モニターまたはテレビに合わせてディスプレイ画面のサイズと位置を調整することをサポートしています。[設定] ボタンをクリックして調整します。



スケール：表示される画面のサイズをスケールで調整します。

X オフセット：表示された画面を左右に移動します。

Y オフセット：表示された画面を上下に移動します。

一度クリックするか、マウスの左ボタンを長押ししてサイズと位置を調整するか、マウスホイールをスクロールして調整します。マウスの右ボタンをクリックして終了し、「Apply」をクリックして変更を保存します。

**Cursor Hidden Delay**：ドロップダウンメニューをクリックして、アイドル時にNVRがマウスカーソルを非表示にする時間を選択します。「OFF」を選択することで無効にすることもできます（パスワード保護は一時的に無効になります）。

**Cursor Acceleration**：速度を調整してマウスカーソルを移動する。

**Transparency**：メニューバーとメインメニューが画面上でどのように透明に表示されるかを変更するには、スライダを左右にクリックしたままにします。それによって調整してください。

### 5.6.3 マルチユーザー

ユーザー名、パスワード、およびユーザー権限を構成できます。

No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	パスワード有効	編集	許可
1	admin	管理者	有効	無効		
2	peer1	ユーザー1	無効	無効		
3	peer2	ユーザー2	無効	無効		
4	peer3	ユーザー3	無効	無効		
5	peer4	ユーザー4	無効	無効		
6	peer5	ユーザー5	無効	無効		
7	peer6	ユーザー6	無効	無効		

既定のユーザ

システムは、以下の勘定タイプをサポートしています。

**ADMIN - System Administrator:** 管理者はシステムを完全に制御し、管理者パスワードとユーザーパスワードの両方を変更し、パスワード保護を有効/無効にすることができます。

**USER - Normal User:** ユーザーはライブ視聴、検索、再生などの機能にのみアクセスできます。システムへのさまざまなアクセスレベルで複数のユーザーアカウントを設定することができます。

#### 5.6.3.1 パスワード変更

管理者またはユーザーアカウントのパスワードを変更するには、[編集]アイコンをクリックします。パスワードは8文字以上でなければならず、数字と文字の混在が可能です。新しいパスワードをもう一度入力して確認し、[保存]をクリックして新しいパスワードを保存します。認証のために古いパスワードを入力する必要があります。

**編集**

レベル: 管理者

User name:

パスワード有効:

パスワード:

確認:

Unlock Pattern Enable:

**Authentication**

ユーザー名:

パスワード:   Show Password

パスワード有効：プライバシーを保護するためにパスワードを有効にすることを強くお勧めします。

もしパスワード保護を無効にする場合は、NVRが安全な場所に設置されていることを確認してください。

### 5.6.3.2 ユーザーの追加



1. 現在無効になっているユーザー

アカウントの1つを選択し、ユーザー編集アイコンをクリックします .



2. User Enable の横にあるドロップダウンから Enable を選択します。
3. ユーザー名の横にあるフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. [パスワード有効]の横にあるドロップダウンから[有効]を選択します。
5. [パスワード]の横にあるフィールドをクリックして、必要なパスワードを入力します。
6. [確認]の横にあるフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
7. [Unlock Pattern Enable]有効を選択します。DREW アイコンを押し、ジェッシャーパターンを作成できます。
8. [保存]をクリックします。 認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

### 5.6.3.3 Setting User Permissions

管理者アカウントは、すべてのシステム機能を完全に制御できる唯一のアカウントです。各ユーザーアカウントの特定のメニューや機能へのアクセスを有効または無効にすることができます。

No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	パスワード有効	編集	許可
1	admin	管理者	有効	無効		
2	user1	ユーザー1	無効	無効		
3	user2	ユーザー2	無効	無効		
4	user3	ユーザー3	無効	無効		
5	user4	ユーザー4	無効	無効		
6	user5	ユーザー5	無効	無効		
7	user6	ユーザー6	無効	無効		

既定のユーザ

1. [権限]タブの編集 アイコンをクリックします。

許可 ✕

ユーザー名

<input checked="" type="checkbox"/> ログ検索	<input type="checkbox"/> パラメータ	<input checked="" type="checkbox"/> Auto Reboot	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアル録画
<input type="checkbox"/> ディスク管理	<input checked="" type="checkbox"/> 連続ログイン	<input type="checkbox"/> SEO制御	<input checked="" type="checkbox"/> Manual Capture
<input checked="" type="checkbox"/> バックアップ			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 2 3 4			
<input checked="" type="checkbox"/> ライブ			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 2 3 4			
<input checked="" type="checkbox"/> 再生			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 2 3 4			
<input checked="" type="checkbox"/> PTZ			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 2 3 4			

2. ユーザーがアクセスするシステムメニューまたは機能の横にあるチェックボックスをオンにします。すべてのボックスをチェックするには、[すべて]をクリックします Clear をクリックして、いずれのボックスもチェックしないでください。
3. [保存]をクリックして変更内容を保存します。

## 5.6.4 保守設定

このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップグレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、マネージャーシステムの自動リポートが可能です。



### 5.6.4.1 Log

システムログには、モーションアラームやシステム警告などの重要なシステムイベントが表示されます。設定した期間、システムログのバックアップファイルを USB フラッシュドライブに簡単に作成できます。



ログの検索とバックアップ：

1. 開始日は、カレンダーのアイコンをクリックし、設定します。開始時刻は、フィールドをクリックして、時刻を設定します。
2. 終了日は、カレンダーのアイコンをクリックし、設定します。終了時刻は、フィールドをクリックして、時刻を設定します。
3. 検索するイベントの種類を[ログタイプ]の横にあるドロップダウンから選択するか、[すべて]を選択して、選択した期間のシステムログ全体を表示します。
4. [検索]をクリックします。
5. 検索期間からシステムログイベントを参照します。
  - o ビデオイベントは、「再生」列をクリックすると即座に再生できます。右クリックして検索結果に戻ります。

o システムログイベントのページ間を移動するには、メニューの右下隅にある **K < > M** ボタンを使用します。

6. [バックアップ]をクリックして、検索期間のシステムログのバックアップを作成します。お使いのフラッシュメモリーが NVR の USB ポートに接続されていることを確認してください。
7. バックアップドライブのメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動し、[OK]をクリックして開始します。

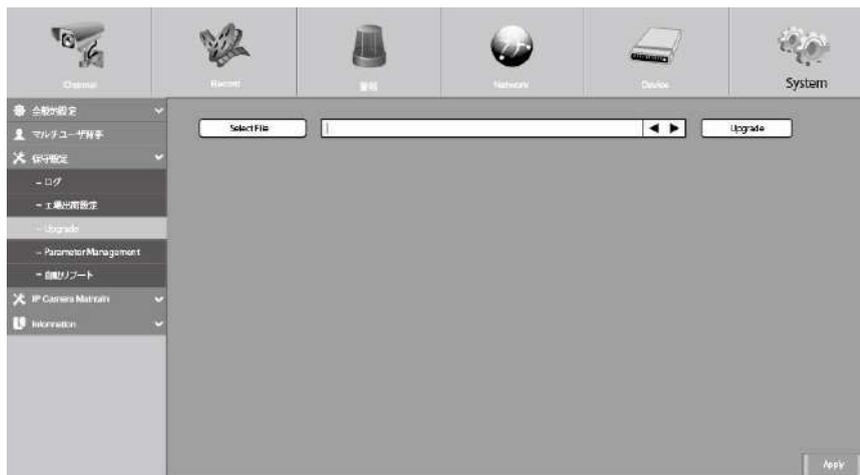
### 5.6.4.2 工場出荷設定

NVR 設定を工場出荷状態に戻します。一度にすべての設定をリセットするか、特定のメニューの設定だけをリセットするかを選択できます。デフォルト設定を復元しても、ハードディスクに保存されている録画やスナップショットは削除されません。



復元するアイテムを確認するか、[Select All]をチェックしてすべてのアイテムを選択します。選択したアイテムのデフォルト設定を読み込むには、[Apply]をクリックします。

### 5.6.4.3 Upgrade



1. ファームウェアファイル（.sw ファイル）を USB ドライブにコピーし、USB メモリーを NVR に挿入します
2. [Selet file] ボタンをクリックして USB メモリーのファームウェアファイルを選択し、[OK] をクリックします。
3. [Upgrade] ボタンをクリックしてシステムのアップグレードを開始します。システムのアップグレードは約 5-10 分かかります。ファームウェアアップグレード中に NVR の電源を切ったり、NVR から USB を取り外したりしないでください。

### 5.6.4.4 Parameter Management

設定したメインメニューの設定を USB フラッシュドライブにエクスポートします、エクスポートされた設定ファイルを USB フラッシュドライブから NVR にインポートすることができます。



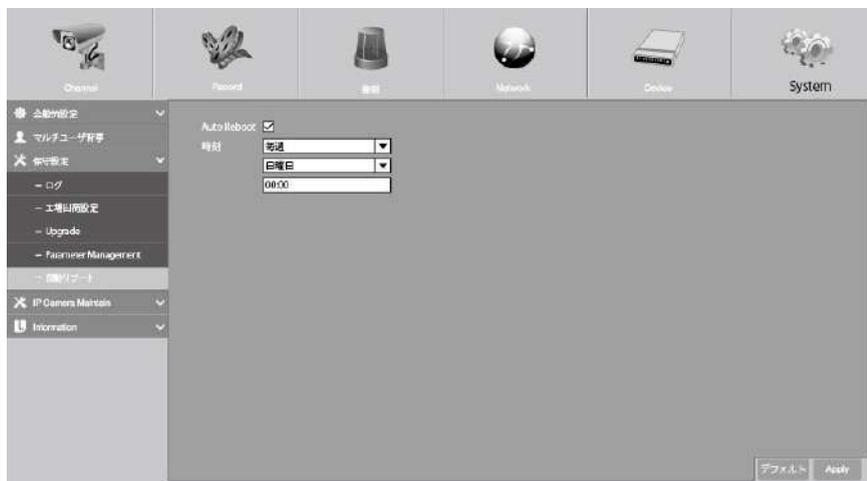
[エクスポート] 設定：NVR の現在のシステム設定を USB デバイスに保存する場合にクリックします。認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

設定の読み込み：システム設定の書き出しを作成したら、その設定を別の NVR に読み込むことができます。

[インポート設定] ボタンをクリックすると、USB フラッシュドライブからインポートするシステム設定ファイルが表示されます。認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

### 5.6.4.5 自動リブート

このメニューでは、NVR を定期的に自動再起動することができます。 この機能を有効にしたままにすることをお勧めします。NVR の操作上の完全性を維持するためです。

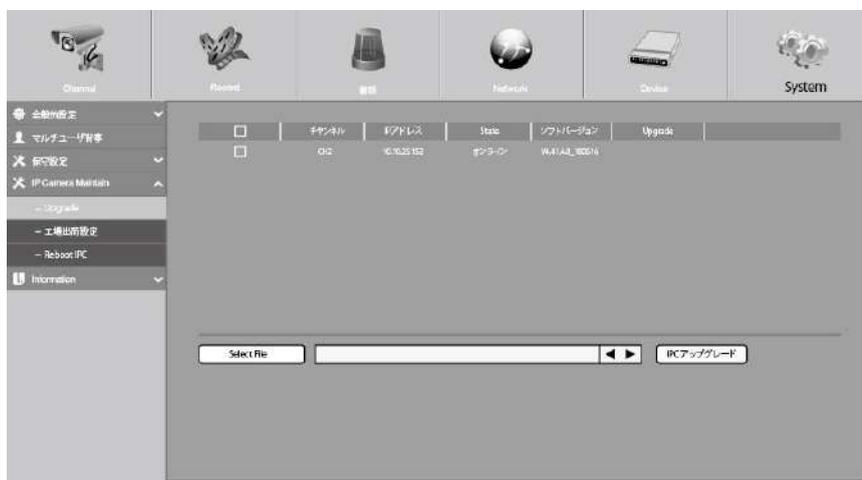


自動再起動：チェックボックスをオンにすると有効になります。

時間：NVR を日、週、月単位で再起動するように設定できます。

### 5.6.5 IP Camera Maintain

IP カメラのファームウェアをアップグレードし、IP カメラのデフォルト設定に戻すことができます



### 5.6.5.1 Upgrade IP Camera



1. ファームウェアをアップグレードするIPカメラの1つを選択します。
2. [ファイルの選択]をクリックして、USB フラッシュドライブからアップデートファイルを選択し、[OK]をクリックします。
3. IPC アップグレードボタンをクリックしてアップグレードを開始します。 認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。 NVR と IP カメラの電源を切ったり、アップグレード中に USB を取り外したりしないでください。

### 5.6.5.2 IP カメラを工場出荷状態に戻す



1. 復元する IP カメラを選択します。
2. [工場出荷設定]をクリックして設定を復元します。 認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

## 5.6.6 System Information

システム情報、チャンネル情報、記録情報&ネットワーク状態の確認ができます。

### 5.6.6.1 Information

デバイス ID、デバイスモデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアのバージョンなどのシステム情報を表示します。



NVR が P2P 機能をサポートしている場合は、情報ページに P2P ID と P2P QR コードがあります。モバイルアプリでこの QR コードをスキャンすると、NVR をリモートで見ることができます。

### 5.6.6.2 Channel Information



エイリアス、メインストリーム、サブストリーム録画仕様、モーション検出ステータス&プライバシーゾーンなど、接続された各カメラのチャンネル情報を表示します。

### 5.6.6.3 Record Information



ビットレート、ストリームタイプ、録画解像度、フレームレート（FPS）など、接続されている各カメラの録画情報を表示します。

### 5.6.6.4 Network State



ネットワーク情報を表示します。

合計帯域幅：IPカメラのNVRの全入力帯域幅を示します。

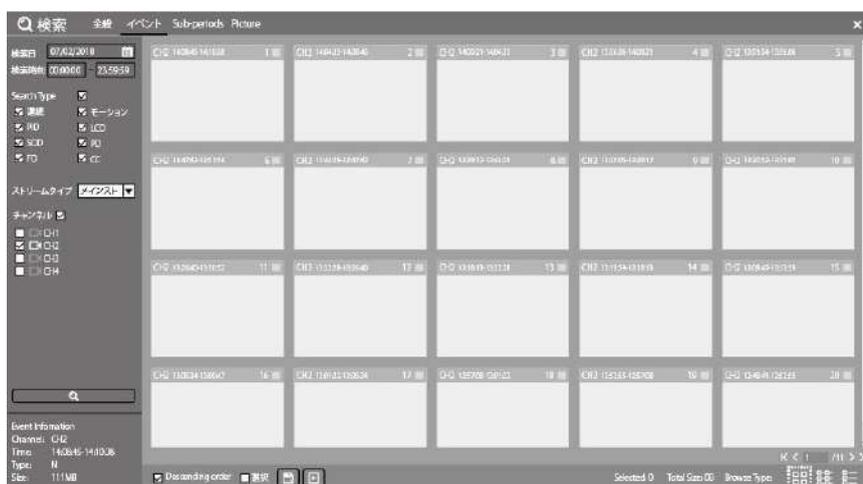
使用帯域幅：IPカメラの使用帯域を表示します。

## 第6章 検索、再生、バックアップ

検索機能を使用すると、NVRのハードドライブに保存されているスナップショットだけでなく、以前に録画したビデオを検索して再生することができます。録画スケジュール、手動録画、またはモーションイベントのみに一致するビデオを再生することができます。バックアップ機能は、重要なイベント（ビデオとスナップショットの両方）をUSBフラッシュドライブに保存

### 6.1 検索を利用して再生します

スタートメニューより  検索ボタンを押します。



1. **検索オプション**: 検索、再生のさまざまな方法を提供します: 一般、イベント、Sub-periods、Picture

2. **検索日**: 再生する日付で検索する

3. **Search Type**: 検索を絞り込むための検索タイプを選択します。

4. **チャンネル**: 検索して再生したいチャンネルを選択します。

5. **再生ツール**: 再生のコントローラー



 ビデオの再生を全画面に拡大

 巻き戻し、x2、x4、x8、x16

 スロー再生、1/2、1/4、1/8、1/16 スピード

 再生

 一時停止

 フレームごとに再生します。一度クリックすると動画のフレームが再生されます



停止



早送り、x2、x4、x8、x16



デジタルズーム：クリックしてズームイン(1画面)し、再生中にカメラの画像をマウスのホイールでスクロールして、選択した領域を拡大します。右クリックすると通常の再生に戻ります。



ビデオクリップ。ビデオの一部を USB フラッシュドライブにすばやく保存できます。詳しくは [6.1.1.1 Video Clip Backup](#)



ビデオクリップを保存する



ボリュームコントロール：スライダバーをスクロールして音量を増減します。



スナップショット：USB フラッシュドライブにスナップショットイメージをキャプチャーします。ビデオの再生が分割画面表示の場合は、キャプチャーしたいチャンネルにマウスカーソルを移動し、



アイコンをクリックしてスナップショットを保存します。

6. **タイムライン**: 録画データは、録画方法により色分けされてタイムバーに表示されます。右上の時間設定バーで時間軸の変更が可能です。



録画タイプを色別に表示します。



常時録画：緑

モーション録画：黄

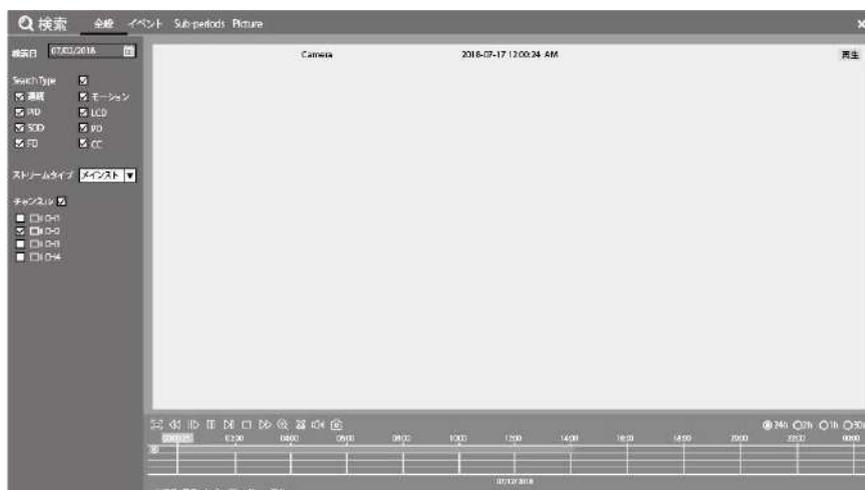
intelligent：青

アラーム：橙

7. **再生状態**: 再生状態を表示します。

## 6.1.1 全般での検索と再生

選択した日付の録画を検索および再生することができます。



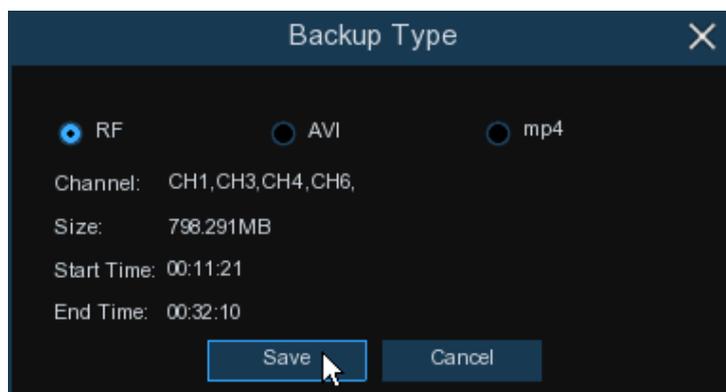
1. カレンダーからビデオ録画を検索する日付を選択します。
2. 検索タイプを選択します。
3. 検索したいチャンネルにチェックを入れ検索します。
4. 検索結果は、00:00~24:00のタイムラインに表示されます。
5. ▶ ボタンをクリックし再生をします。
6. ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。
7. 時間枠を設定して、希望の再生時間を表示します。
8. USB フラッシュドライブの再生中にビデオのセクションをすばやく保存したい場合は、 をクリックし、ビデオクリップバックアップ機能を使います。

### 6.1.1.1 ビデオクリップ バックアップ

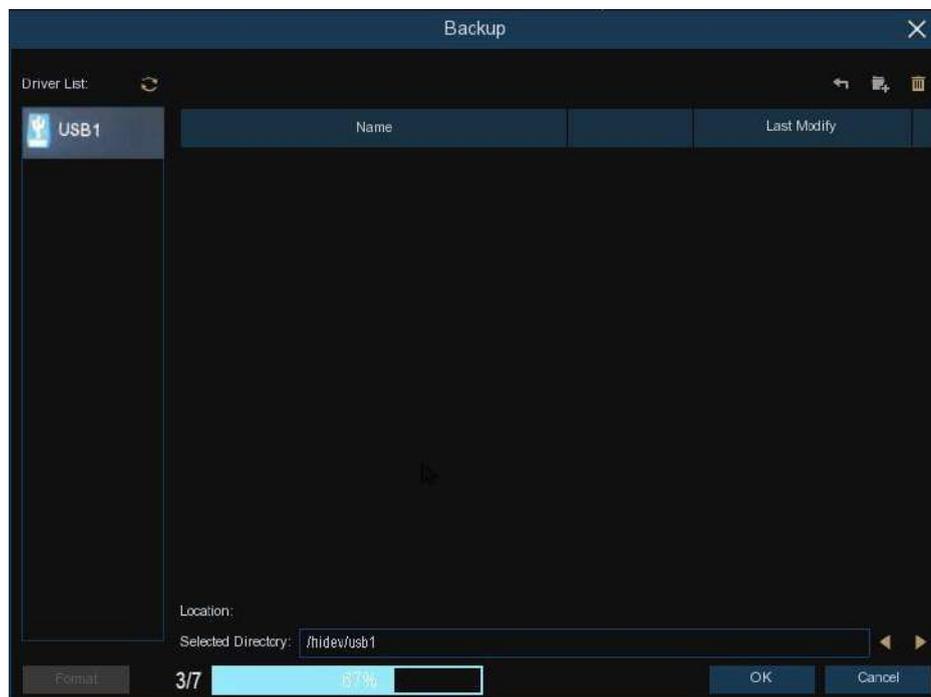


1. USB フラッシュドライブをNVRに挿入します。
2. ビデオ録画の再生を開始する。
3. アイコンをクリックします。
4. ビデオクリップのバックアップを作成するチャンネルを確認してください。

5. ビデオクリップを開始するタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスの左ボタンを押したまま、ビデオクリップを終了するタイムラインにドラッグします。
7.  のアイコンが  アイコンに変わります。  をクリックし、保存します。
8. バックアップファイルのファイルタイプを選択し、[保存]ボタンをクリックしてビデオクリップを保存します。お使いのUSBドライブにビデオクリップを保存するのに十分なスペースがあることを確認してください。

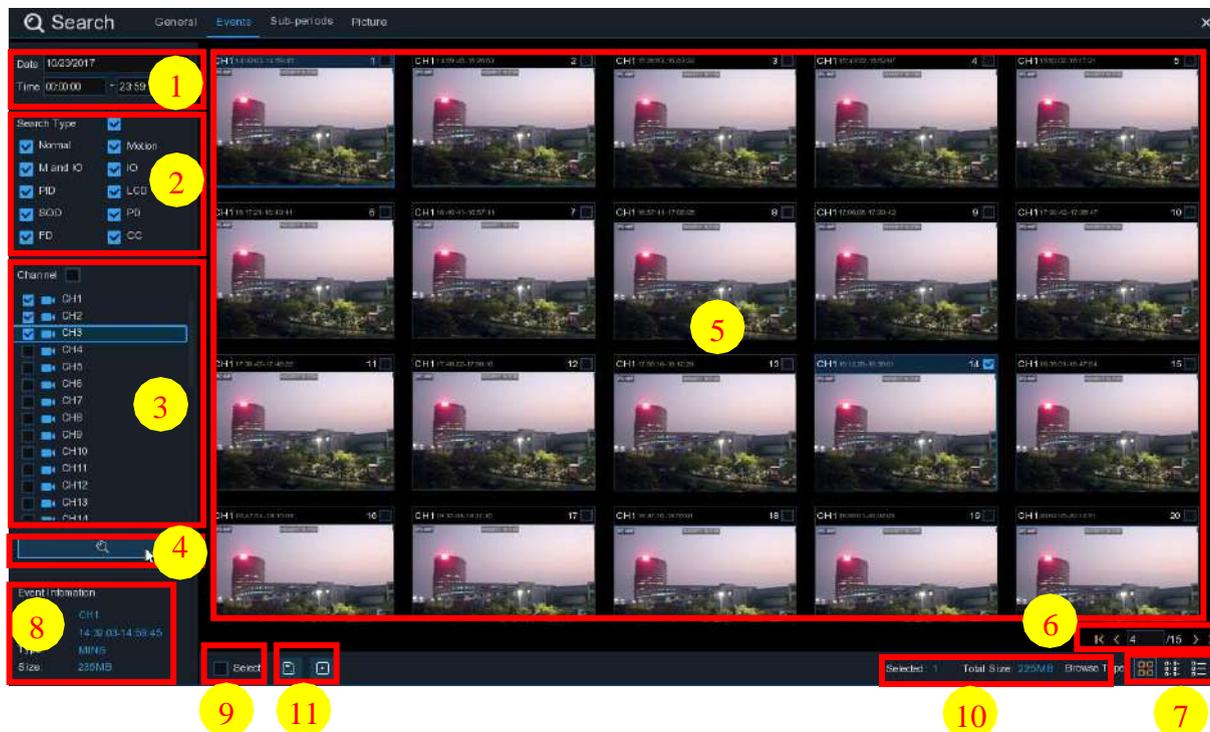


9. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。
10. [OK]をクリックして開始します。ウィンドウの下部にあるプログレスバーに、バックアップの進捗状況が表示されます。



## 6.1.2 イベント検索 再生とバックアップ

イベント検索では、チャンネル、開始時間と終了時間、および録画タイプを便利に要約したビデオ録画のリストを表示できます。 イベントをUSBフラッシュドライブにすばやくバックアップすることもできます。



### イベントを検索、再生、バックアップするには:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する録画タイプを確認するか、[検索タイプ]ですべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択するか、チャンネルをチェックしてすべてのチャンネルを選択します。
4. アイコンをクリックして検索を開始します。
5. 検索条件に合ったイベントがリスト形式で表示されます。 イベントの1つでマウスの左ボタンをダブルクリックすると、ビデオをすぐに再生できます。
6. メニューの右下にあるアイコンを使用してページをスキップする。直接ページを入力するかアイコンで移動します。
7. 画面の右下に表示されるアイコンをクリックすると、リスト形式の表示を切り替えることができます。

サムネイル表示： イベントのスナップショットを表示できます。

リスト表示： イベントがリストに表示されます。

1	CH1	00:00:00	2	CH1	00:00:45	3	CH1	00:18:30	4	CH1	00:44:03	5	CH1	01:10:48	6	CH1	01:19:22	7	CH1	01:35:37	8	CH1	01:43:32
9	CH1	02:01:12	10	CH1	02:25:38	11	CH1	02:43:17	12	CH1	03:02:08	13	CH1	03:08:37	14	CH1	03:10:01	15	CH1	03:14:54	16	CH1	03:42:12
17	CH1	04:07:23	18	CH1	04:19:35	19	CH1	04:36:40	20	CH1	05:00:20	21	CH1	05:24:12	22	CH1	05:45:55	23	CH1	06:04:07	24	CH1	06:14:27
25	CH1	06:41:12	26	CH1	06:44:25	27	CH1	07:01:42	28	CH1	07:20:43	29	CH1	07:31:23	30	CH1	07:48:04	31	CH1	08:17:33	32	CH1	08:40:16
33	CH1	08:50:34	34	CH1	09:07:05	35	CH1	09:25:12	36	CH1	09:44:07	37	CH1	09:46:08	38	CH1	10:00:52	39	CH1	10:14:18	40	CH1	10:34:42
41	CH1	10:45:57	42	CH1	11:12:48	43	CH1	11:20:27	44	CH1	11:48:18	45	CH1	12:07:25	46	CH1	12:30:12	47	CH1	12:44:43	48	CH1	12:55:49
49	CH1	13:00:48	50	CH1	13:30:46	51	CH1	13:37:51	52	CH1	13:57:01	53	CH1	14:10:24	54	CH1	14:11:16	55	CH1	14:18:12	56	CH1	14:35:26
57	CH1	14:40:31	58	CH1	14:44:42	59	CH1	14:48:38	60	CH1	15:15:44	61	CH1	15:39:06	62	CH1	16:01:07	63	CH1	16:16:00	64	CH1	16:24:41
65	CH1	16:27:29	66	CH1	16:43:47	67	CH1	16:45:43	68	CH1	17:01:14	69	CH1	17:05:03	70	CH1	17:28:30	71	CH1	17:54:23	72	CH1	18:08:49
73	CH1	18:30:07	74	CH1	18:44:14	75	CH1	18:57:14	76	CH1	19:07:37	77	CH1	19:12:12	78	CH1	19:36:50	79	CH1	19:50:34	80	CH1	20:01:42
81	CH1	20:25:40	82	CH1	20:34:32	83	CH1	20:49:48	84	CH1	21:04:51	85	CH1	21:21:09	86	CH1	21:42:12	87	CH1	21:47:36	88	CH1	22:02:49
89	CH1	22:29:59	90	CH1	22:39:14	91	CH1	22:54:42	92	CH1	22:57:45	93	CH1	23:08:03	94	CH1	23:22:59	95	CH1	23:35:50			



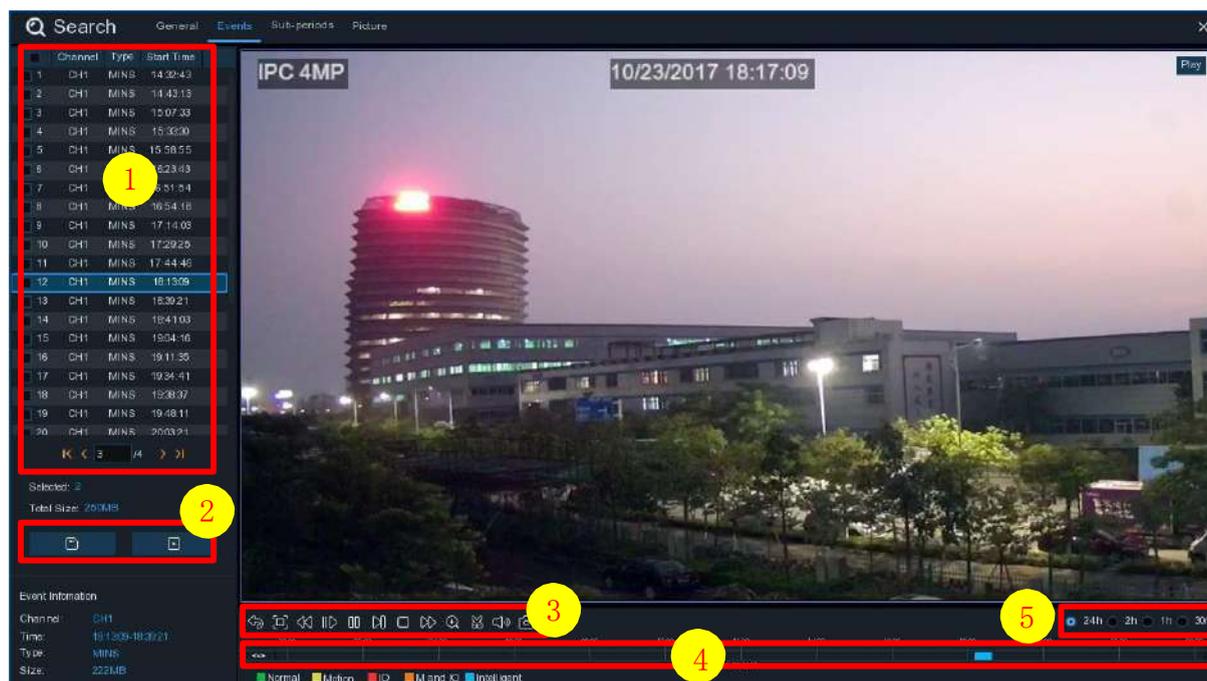
詳細表示：イベントの詳細を表示できます。

	Channel	Type	Date	Start Time	End Time	Size	Playback	Lock	
<input type="checkbox"/>	1	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:00	00:00:45	6MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	2	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:45	00:18:30	150MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	3	CH1	MINS	10/23/2017	00:18:30	00:44:03	217MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	4	CH1	MINS	10/23/2017	00:44:03	01:10:48	227MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	5	CH1	MINS	10/23/2017	01:10:48	01:19:22	72MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	6	CH1	MINS	10/23/2017	01:19:22	01:35:37	138MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	7	CH1	MINS	10/23/2017	01:35:37	01:43:32	67MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	8	CH1	MINS	10/23/2017	01:43:32	02:01:12	150MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	9	CH1	MINS	10/23/2017	02:01:12	02:25:38	207MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	10	CH1	MINS	10/23/2017	02:25:38	02:43:17	150MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	11	CH1	MINS	10/23/2017	02:43:17	03:02:08	160MB	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	12	CH1	MINS	10/23/2017	03:02:08	03:08:37	55MB	<input type="checkbox"/>	

詳細ビューモードでは、ビデオイベントをロックして、イベントがハードドライブに上書きされないようにすることができます。 クリックでロック クリックで解除できます。

8. いずれかのイベントでマウスの左ボタンをクリックすると、システムは画面の左下隅にイベント情報を表示します。
9. ファイルを選択するイベントの番号の横にあるチェックボックスをオンにするか、[次へ]チェックボックスをオンにして、ページ内のすべてのイベントを選択します
10. 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面の右下に表示されます。
11. ファイルを選択したら、 アイコンをクリックしてビデオを USB フラッシュドライブに保存できます。 または、 アイコンをクリックしてイベント再生コントロールウィンドウにビデオを再生します。

## 6.1.2.1 Event Playback Control



1. イベントリストからイベントを選択できます。
2.  アイコンをクリックして、選択したイベントビデオを USB フラッシュドライブに保存します。  アイコンをクリックしてビデオを再生します。
3. ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。  アイコンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、イベント検索ウィンドウに戻ることができます。
4. 今、再生しているイベントがタイムラインに表示されます。
5.  時間枠を設定して、希望の再生時間を表示します。

### 6.1.3 サブ期間の再生

サブ期間の再生では、1つのチャンネルから複数の通常の録画とモーショスイベントを同時に再生できます。通常録画とイベント録画の場合、ビデオは選択された分割画面モードに応じて均等に分割されます。たとえば、ビデオの時間が1時間で、分割画面 x 4 を選択した場合、各分割画面は15分間再生されます。



サブ期間でビデオを検索して再生するには：

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 動画を再生する分割画面を選択します。
3. 検索する録音タイプを確認するか、[検索タイプ]ですべてを選択します。
  4. 検索するチャンネルを選択します。この機能は、一度に1つのチャンネルを検索して再生する機能しかサポートしていません。
5. 再生を開始するには、再生ボタンをクリックします。ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。
6. 動画が分割画面で再生されています。
7. 特定の分割画面でマウスの左ボタンをクリックすると、ビデオ分割画面の期間がタイムラインに表示されます。タイムライン上部のカラーバーは、クリックしたビデオ分割画面の時間間隔を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、検索した動画全体の時間間隔を示します。



8. 時間枠を設定して、希望の再生時間を表示します。を使用して、時間枠の詳細が設定できます。

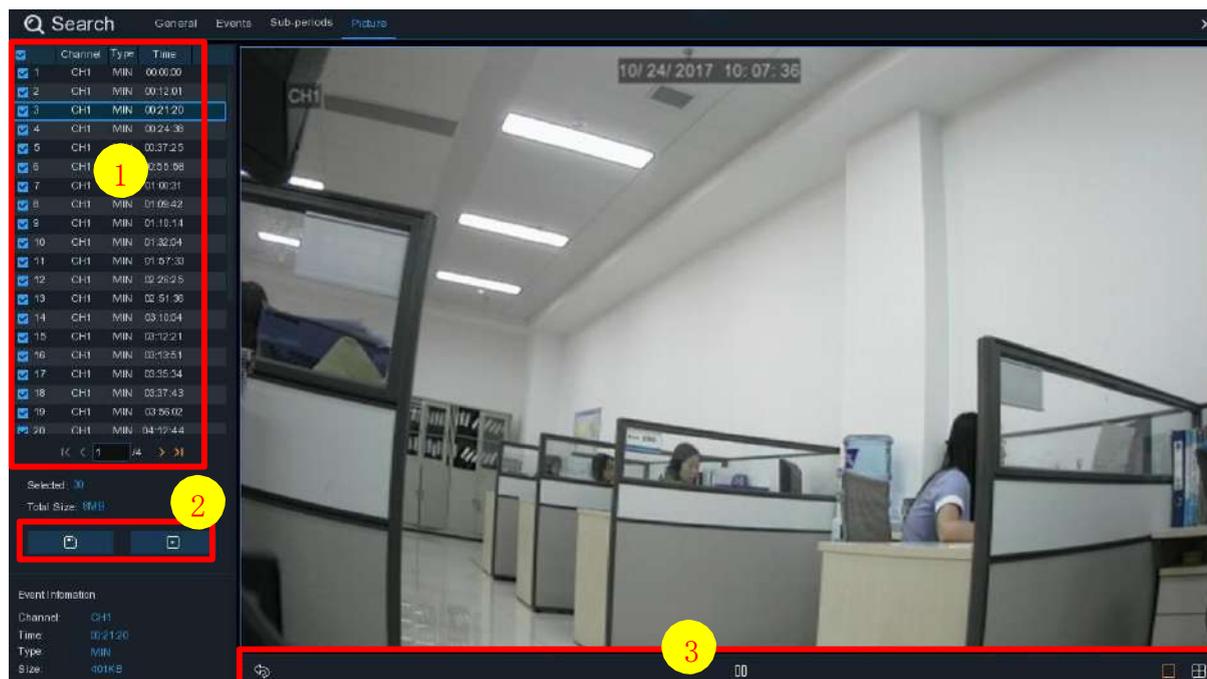


 詳細表示：イベントの詳細を表示できます。

	Channel	Type	Date	Time	Size	Playback	
<input type="checkbox"/>	1	CH1	MIN	10/24/2017	00:00:00	160KB	
<input type="checkbox"/>	2	CH1	MIN	10/24/2017	00:12:01	201KB	
<input type="checkbox"/>	3	CH1	MIN	10/24/2017	00:21:20	401KB	
<input type="checkbox"/>	4	CH1	MIN	10/24/2017	00:24:38	111KB	
<input type="checkbox"/>	5	CH1	MIN	10/24/2017	00:37:25	167KB	
<input type="checkbox"/>	6	CH1	MIN	10/24/2017	00:55:58	210KB	

8. 画像の1つでマウスの左ボタンをクリックすると、画面の左下隅に画像情報が表示されます。
9. 次のボックスのチェックボックスをオンにしてファイルを選択するか、[次へ]チェックボックスをオンにして、ページ内のすべての画像を選択します。
10. 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面の右下に表示されます。
11. ファイルを選択したら、 ボタンをクリックして画像をUSBフラッシュドライブに保存できます。または、 ボタンをクリックして画像プレビューコントロールウィンドウに移動します。

### 6.1.5.1 画像プレビューコントロール



1. 画像一覧：ここで画像を選択できます。
2.  ボタンをクリックして、選択した画像をUSBフラッシュドライブに保存します。 ボタンをクリックすると、スライドショーの画像が表示されます。
3.  ボタンを押してプレビューコントロールウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。  
一時停止するには ボタンを押し、スライドショーを再開するには、 を押します。  
 ボタンを押すと前のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示され、 を押すと次のス

---

ナップショットまたはスナップショットのグループが表示されます。

 クリック  ボタンをクリックすると一度に1つのスナップショットが表示され、 ボタンをクリックすると4つのスナップショットが同時に表示され、ボタンを押すと9つのスナップショットが一度に表示されます。

## 第7章 Web クライアント経由の遠隔操作

Web クライアントを使用して、PC 経由で NVR にリモートアクセスできます。Web クライアントにアクセスする前に、NVR のインターネット設定が適切に構成されていることを確認してください。

### 7.1 基本的なシステム環境

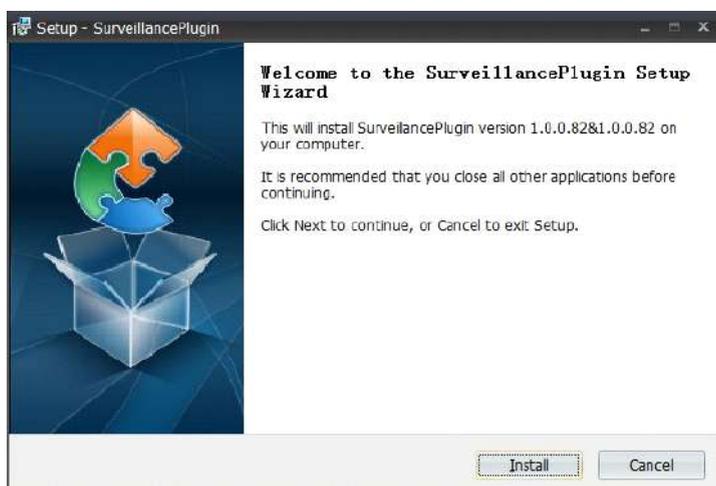
アイテム	最小システム要件	推奨
CPU	Intel® Core™ i5 CPU	Intel® Core™ i5 CPU or higher
RAM	4G 以上	8G 以上
ハードドライブ	500G 以上	1000G 以上
ディスプレイ RAM	2G 以上	4G 以上
ディスプレイ解像度	1280*1024	1920*1080
OS	Windows 7 or above Mac OS X® 10.9 以上	
DirectX	DirectX 11	
Direct3D	Acceleration Function	
Ethernet Adapter	10/100/1000M Ethernet Adapter	
IE	Microsoft Internet Explorer (Ver. 11, 10, 9, 8). Edge は対応していません。	
Mozilla Firefox	V51 以下. V52 以上のバージョンをサポートしていません。	
Google Chrome	V44 以下 V45 以上のバージョンをサポートしていません。	
Mac Safari	5.1 以上	

### 7.2 Web プラグインのダウンロードとインストール

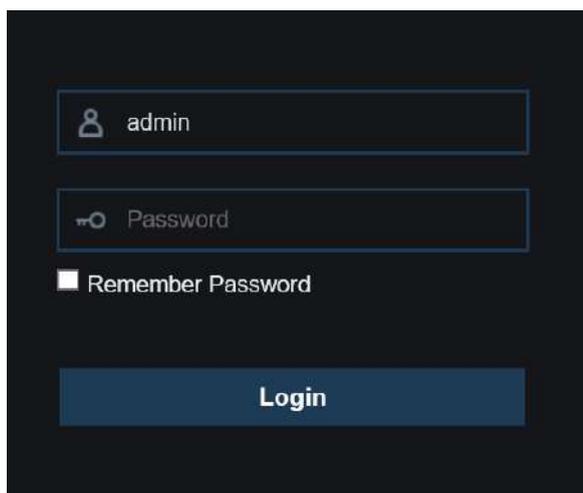
Web クライアントにアクセスするには、次の操作を行います：

#### For IE/Chrome/Firefox:

1. PC でエクスプローラを起動し、設定した NVR IP アドレスまたは DDNS ドメイン名（ホスト名）を URL に入力します。
2. Web クライアントを実行する場合、Web クライアントプラグインをインストールする必要があります。[download](#) をクリックしてプラグインをダウンロードし、コンピュータにインストールします。



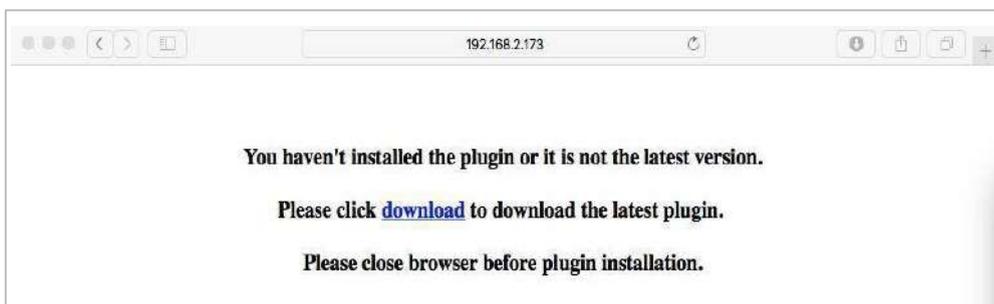
3, プラグインをインストールしたら、ブラウザを閉じて再度起動し、手順 1 を繰り返してログインページを開きます。ユーザー名とパスワードを入力して Web クライアントにログインします。



**メモ:** Google Chrome を使用している場合は、バージョン V41 以降を使用してください。V42~V44 を使用する場合は、NPAPI プラグインを有効にする必要があります。NPAPI を有効にするには、URL バーに `chrome://flags/#enable-npapi` を入力してください。現在はバージョン V45 以上には対応していません。

### Mac Safari:

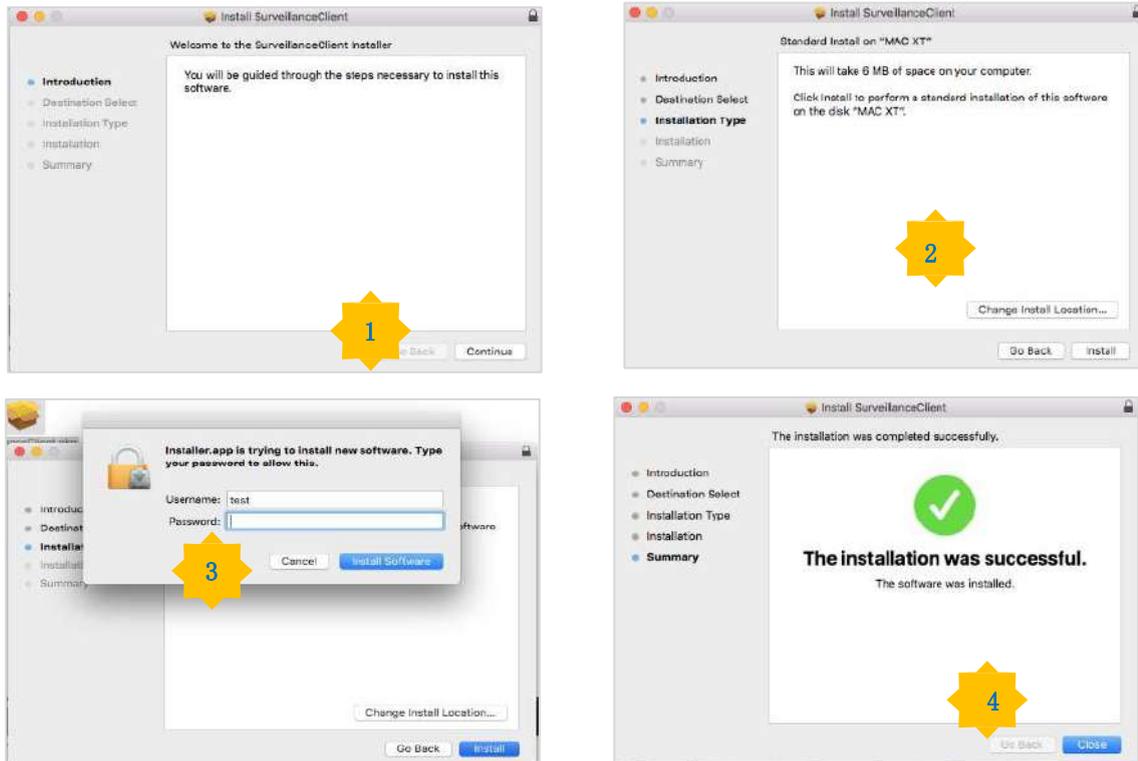
11. Mac で Safari を起動し、URL ボックスに 設定した NVR IP アドレスまたは DDNS ドメイン名 (ホスト名) を入力します。



2. プラグイン「SurveillanceClient.dmg」をダウンロードし、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



2. 「続行」 -> 「インストール」をクリックします。Mac コンピュータのユーザー名とパスワードを入力し、「Install Software」 -> 「Close」をクリックしてインストールを完了します。



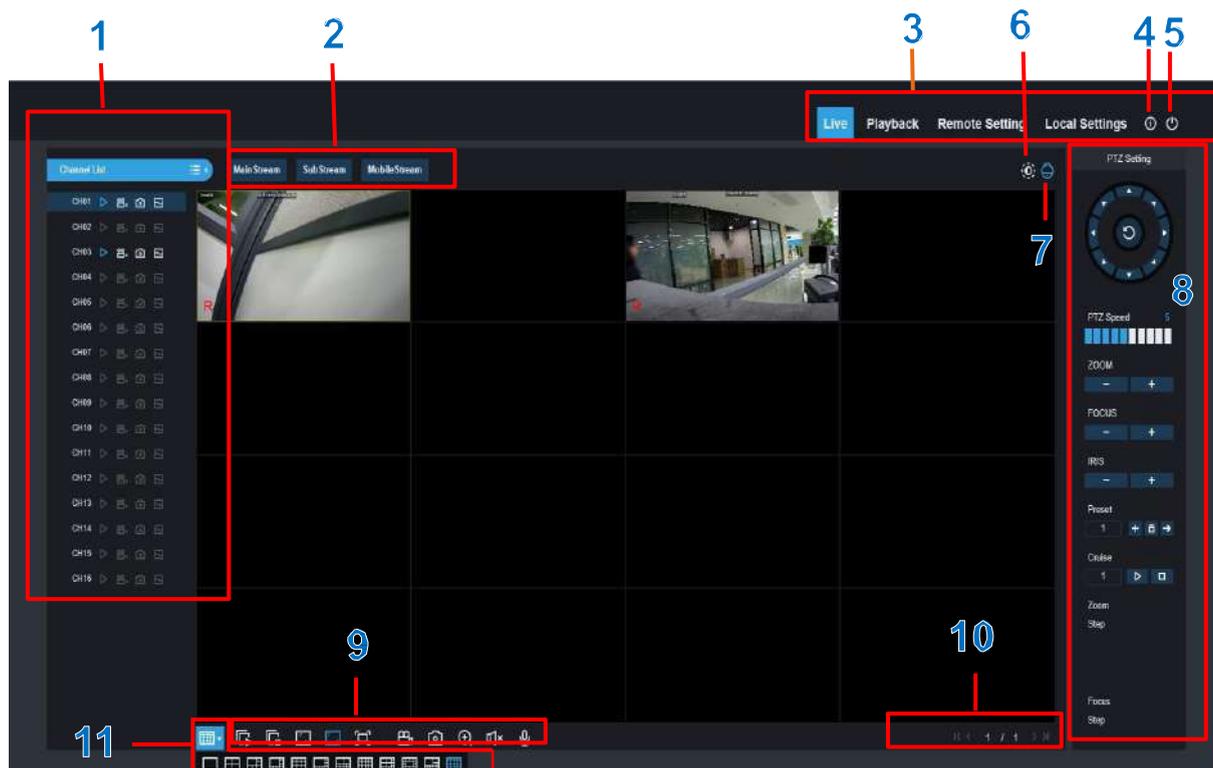
4. Safari を終了してもう一度開くと、Web クライアントのログインページが開きます。

## 7.3 Web クライアントマネージャ

Web クライアントでは、管理者アカウントの NVR を制御することができます。不正なログインを防止するため、ユーザー名とパスワードを大切に保管してください。

### 7.3.1 ライブインターフェイス

ライブプレビューを開いたり閉じたり、手動でローカルコンピュータにビデオを録画したり、画面のスナップショットを撮ったり、PTZ コントロール、色調整などを行うことができます。



1- **チャンネルリスト:**クイックカメラ機能のためのチャンネルリストを開きます。



チャンネルリストを表示します。

チャンネルリストを非表示にします。



ライブビデオストリームのオン/オフを切り替えます。ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色で表示されます。



手動記録ボタン。クリックすると、ライブストリームビデオを手動で録画します。もう一度クリックすると録音を停止します。手動録画はコンピュータに保存されます。録音中は、ボタンは青色で表示されます。



現在のライブディスプレイのスナップショットをコンピュータに保存します。



ビットレートボタン。メインストリーム、サブストリーム、またはモバイルストリームのビデオ設定を使用するようにカメラを設定します。モバイルストリームは、IPチャンネルでのみ使用できます。

2- ライブビデオストリームオプション:

**メインストリーム:** 高品質のメインストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。  
**サブストリーム:** 中品質のサブストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。  
**モバイルストリーム:** 低品質のモバイルストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。  
 IPチャンネル専用です。

3- メインメニュー:

**ライブストリーム:** カメラからライブビデオを見る

**再生:** NVR の HDD に保存されている録画ビデオを表示します。

**リモート設定:** NVR 設定メニューの機能にアクセスします。

**ローカル設定:** Web クライアントを使用して撮影した録画やスナップショットのダウンロード場所を設定し、ビデオファイルのファイルタイプを選択します。

4- **情報:** システムの詳細が表示されます。

5- **閉じる**

6- **カラーコントロール** カラーコントロールを表示または非表示



7- **PTZ Controls:** PTZ コントロールを表示または非表示にします。

8- PTZ Controls



方向キー: クリックすると PTZ カメラが動きます。

自動ラインスキャン

PTZ スピード: PTZ カメラの動作スピードの調整

Zoom: -/+ ズームイン/ズームアウト

Focus: -/+ 焦点調整

Iris: -/+ 露出調整

Preset Point: プリセットの追加・削除ができます。

Cruise: 開始/停止 PTZ クルーズ

9- ライブビューコントロールボタン:



ライブ画面で画像を開く  
すべてのライブチャンネルを閉じる



元の割合: 元の割合でライブビデオを表示します。



拡大: 画面上の各チャンネルの全領域に合わせてライブビデオを拡大します。



Webクライアントをフルスクリーンに拡大する。



手動録画: 表示されているすべてのチャンネルの録画を手動で開始します。手動録画はコンピュータに保存されます。



スナップショット: 現在表示されているすべてのチャンネルのスナップショットがコンピュータに保存されます。



デジタルズーム: ライブ画像のある領域をクリック&ドラッグして拡大します。右クリックすると通常表示に戻ります。



ボリュームコントロール



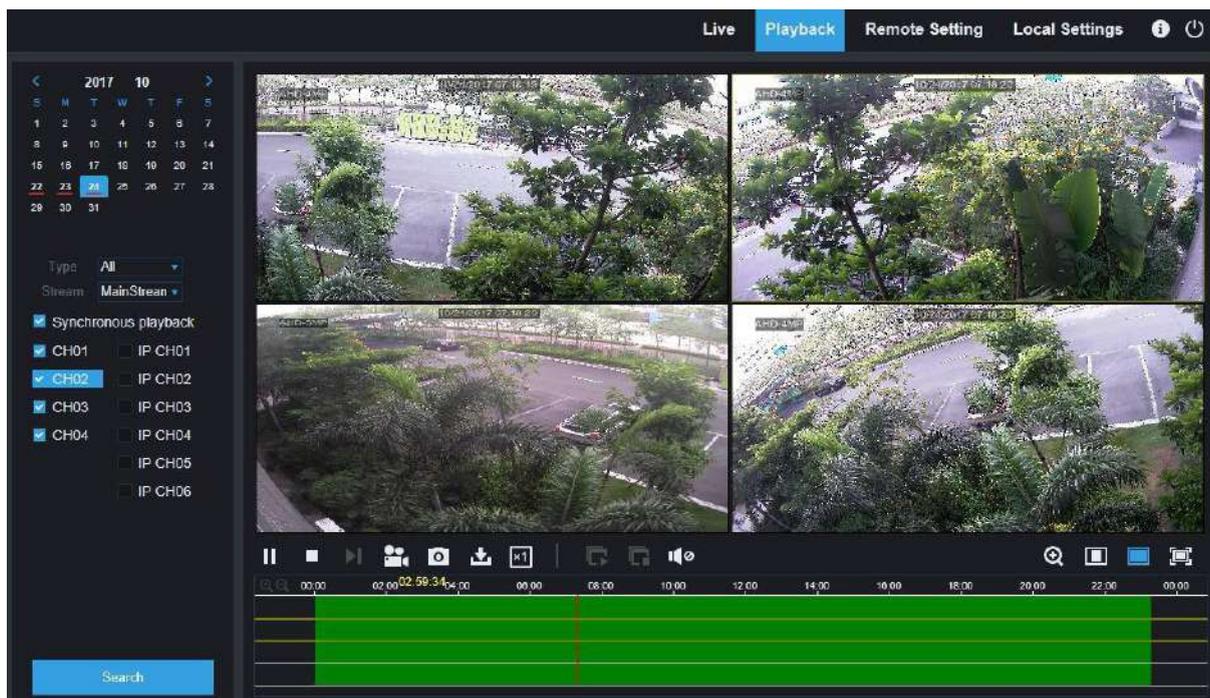
ミュート

10- ナビゲーション: 画面に表示されているチャンネルのページ番号を表示します。矢印キーを使用してページを切り替えます。

11- ページビュー: 一度に画面に表示されるチャンネルの数を選択できます。

7.3.2 再生

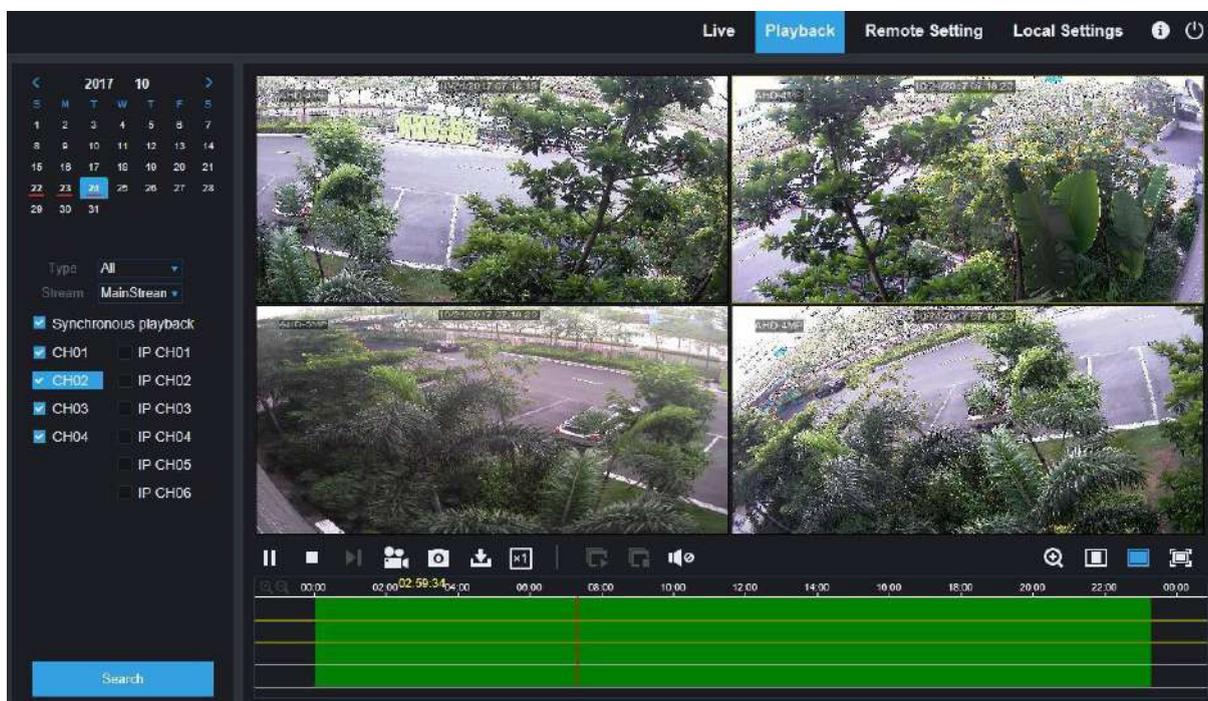
NVR 内の HDD に保存されている録画ビデオを再生し、コンピュータにダウンロードすることができます。



録画検索:

1. ウィンドウの右上隅にある[Playback]をクリックします。
2. カレンダーで録画を検索する日を選択します。録音した日には赤い下線が付きます。
3. [タイプ]の横にあるドロップダウンから検索するタイプを選択するか、[すべて]を選択して録音を検索します。
4. 再生するビデオストリームを選択する。サブストリームの録音を再生する場合は、5.2.2.1 レコードの Dualstream で録音するよう NVR が設定されていることを確認してください。
5. 同期再生をチェックすると、すべてのチャンネルを一度に再生できます。
6. 検索をクリック
7. 再生を開始するビデオのセクションをクリックし、▶再生ボタンをクリックします。

### 7.3.2.1 再生コントロールボタン



録画を再生する



一時停止



停止



スキップ: フレームごとに移動します



再生中のチャンネルの1つをクリックし、録画ボタンをクリックしてビデオをコンピュータに録画します。もう一度クリックすると録音を停止します。



再生中のチャンネルの1つをクリックし、キャプチャーボタンをクリックしてスナップショットを作成し、コンピュータに保存します。



ダウンロードメニューを開き、一度に複数のビデオ録画をダウンロードすることができます。

	<input type="checkbox"/>	Start Time	End Time	Status	File Size
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:00:00	2017-10-25 00:01:04	Completed	47.00M
2	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:01:04	2017-10-25 00:06:56	2%	253.76M
3	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:06:56	2017-10-25 00:12:48	Not Downloaded	253.71M
4	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:12:48	2017-10-25 00:18:41	Not Downloaded	253.91M
5	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:18:41	2017-10-25 00:24:34	Not Downloaded	253.64M
6	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:24:34	2017-10-25 00:30:27	Not Downloaded	253.68M
7	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:30:27	2017-10-25 00:36:18	Not Downloaded	253.75M
8	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:36:18	2017-10-25 00:42:10	Not Downloaded	253.90M
9	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:42:10	2017-10-25 00:48:03	Not Downloaded	253.74M
10	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:48:03	2017-10-25 00:53:56	Not Downloaded	253.63M

10 / 10 Show from 1 to 10, total 95. Per page : 10

Start Download Stop Download

ダウンロードするファイルを選択し、[ダウンロードの開始]ボタンを押すと、ダウンロードの状態が表示されます。



再生速度: クリックで再生スピードの変更



全てのチャンネルを再生: 検索したすべてのチャンネルが再生されます。



全てのチャンネルを停止: すべてのチャンネルの再生が停止します。



デジタルズーム: 再生中のビデオをクリックし、ビデオのある領域をクリック&ドラッグして拡大します。右クリックすると通常表示に戻ります。



元の割合: 再生中のビデオを元の割合で表示します。



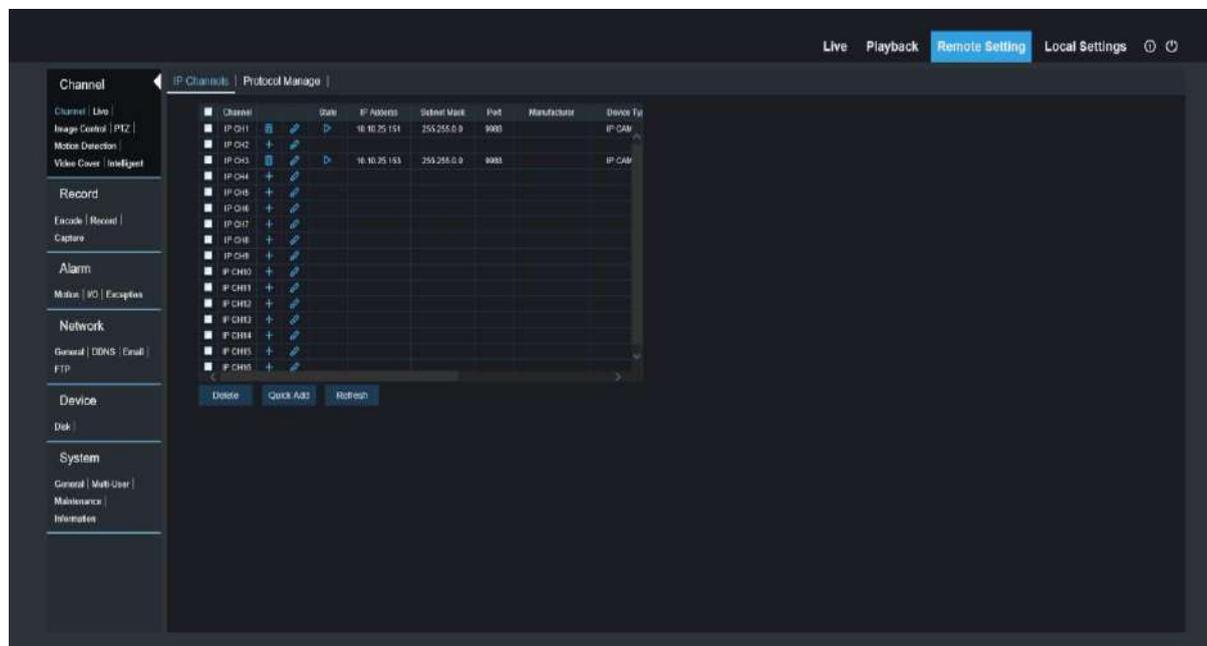
拡大: 画面上の各チャンネルの全領域に合わせて再生ビデオを伸ばします。



Web クライアントをフルスクリーンに拡大する。

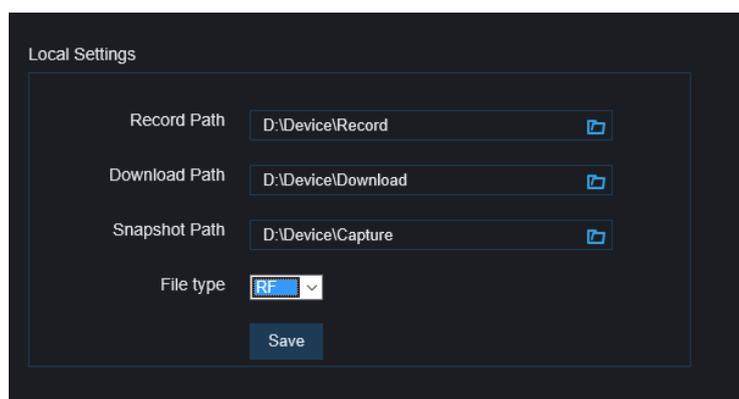
### 7.3.3 リモート設定

NVR の設定をリモートで設定できます。NVR 設定の詳細については、「第 5 章 NVR システム設定」を参照してください。



### 7.3.4 ローカル設定

Web クライアントを使用して撮影した録画やスナップショットのダウンロード場所を設定し、ビデオファイルのファイルタイプを選択します。



**録画パス:** アイコン  をクリックして、手動録画をコンピュータに保存するフォルダを選択します。

**ダウンロードパス:** アイコン  をクリックして、ダウンロードしたビデオ録画をコンピュータに保存するフォルダを選択します。

**スナップショットパス:** アイコン  をクリックして、手動キャプチャスナップショットをコンピュータに保存するフォルダを選択します。

**ファイルタイプ:** 手動録画に適したファイル形式を選択します。

**保存:** 変更が保存されます。

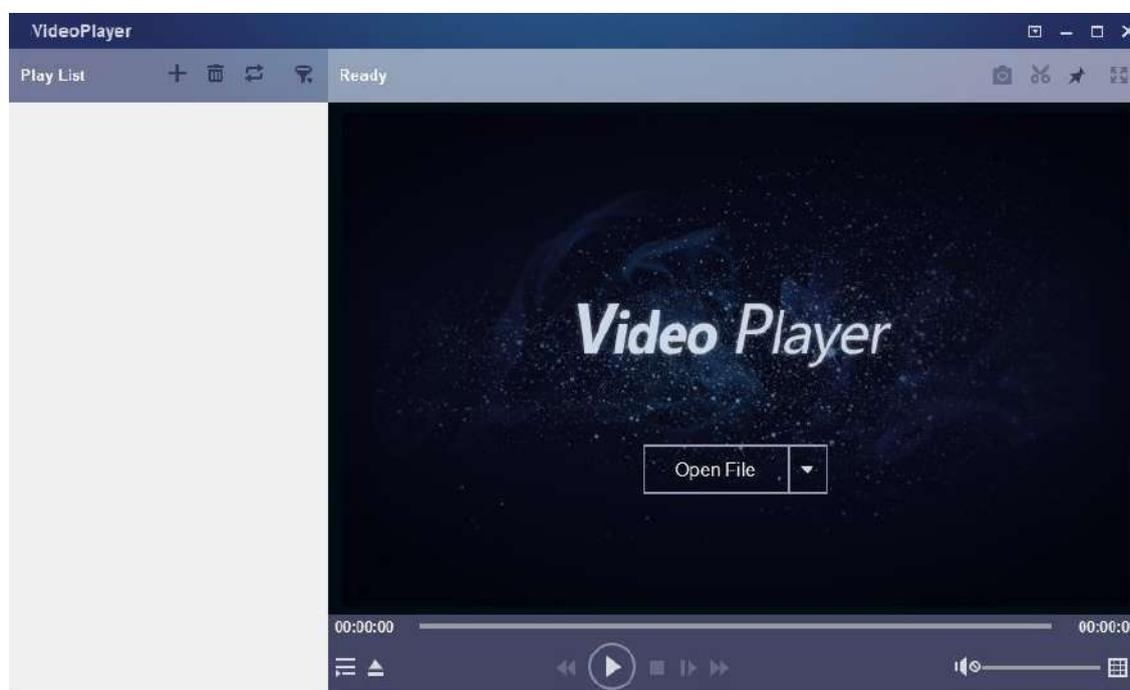
## 第8章 PC / Mac でバックアップされた映像を表示する

WINDOWS PC ユーザーは、"VideoPlayer\_x.x.xx\_xxxx\_xx\_xx.exe" をインストールしてください。

### Minimum System Requirements

- ・ Intel Pentium 4 以上
- ・ Microsoft Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10
- ・ 256MB RAM
- ・ 16MB ビデオメモリー

1. Video Player ソフトウェアを CD にインストールして実行します。



2. バックアップファイルをコンピュータにコピーします。
3. ファイルを開くボタンをクリックするか、再生リストの+ボタンをクリックして、ビデオファイルを読み込みます。".rf", ".avi", ".mp4", ".264", ".265" ファイルの追加と再生に対応しています。  ボタンをクリックすると、バックアップされたビデオを含むフォルダが読み込まれます。

## Video Player Control



### 1. 再生リスト：

-  ファイルを追加
-  ファイルを削除
-  再生モードの選択：1つのファイルを再生して停止します。リストされたすべてのファイルを順番に再生する。1つのファイルを繰り返します。すべてのファイルを繰り返します。
-  ファイル名で保管する

### 2. プレイリストの表示/非表示

-  ファイルを開くまたはフォルダを読み込みます

### 3. 再生コントロール

-  再生
-  一時停止
-  停止
-  フレームごとに再生します。一度クリックすると動画のフレームが再生されます。
-  スロー再生、1/2, 1/4, 1/8, 1/16 倍速
-  早送り、x2、x4、x8、x16

### 4. ボリュームコントロール

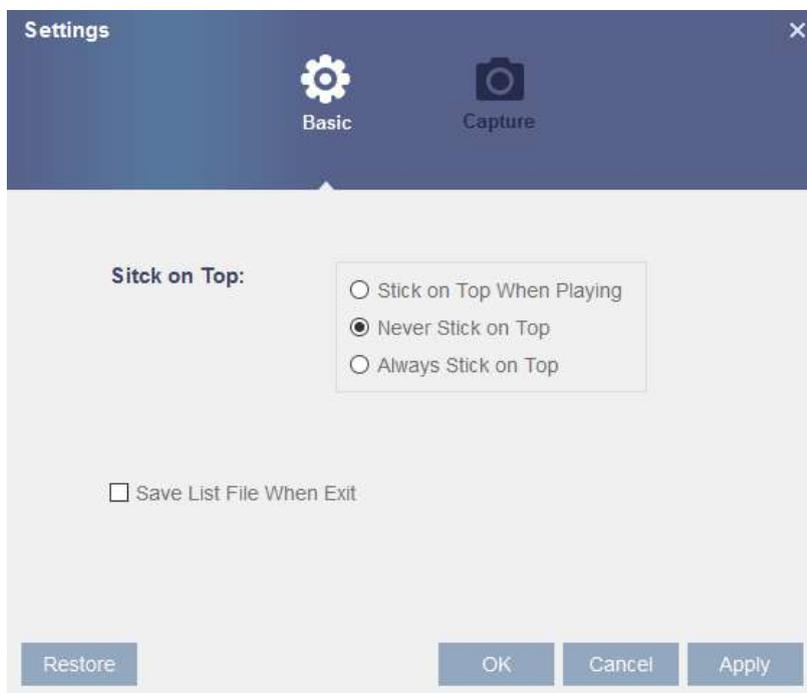
-  マルチスクリーンプレイ。一度に複数のビデオを再生することができます。マルチスクリーンを選択すると、プレイリストのビデオを再生画面にドラッグできます。

### 5. スナップショットを撮る

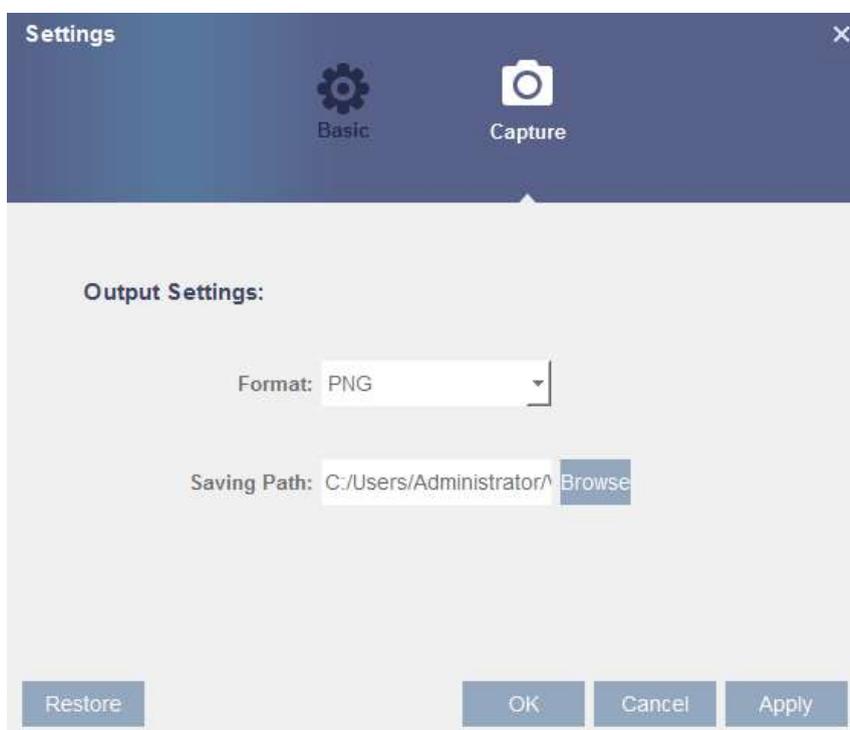
-  ビデオクリップをコンピュータに保存する。

-  ビデオプレーヤーを一番上に固定します
-  ビデオ再生画面をフルスクリーンに拡大する

6.  **詳細設定メニュー** ビデオプレーヤーの OSD 言語を選択し、ビデオプレーヤーの設定を構成することができます。



**基本設定:**オントップモードに設定

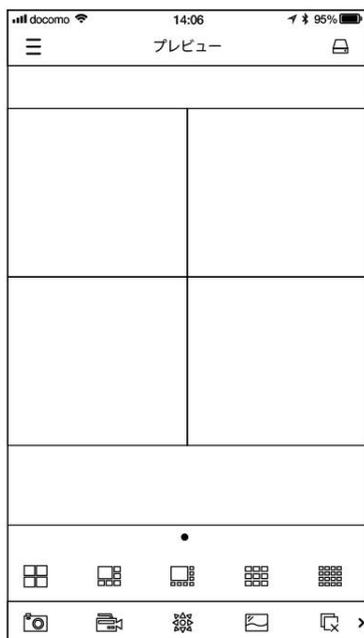


**キャプチャー設定:**スナップショットを保存する形式とパスを設定します。

## 第9章 モバイルデバイスによるリモートアクセス

NVRは、AndroidおよびiOSオペレーティングシステムに基づくモバイルデバイス経由のリモートアクセスをサポートします。

- 1) Android搭載端末やiOS端末のApp Store、Google PlayストアからWTW View10 (App Store)、WTW VIEWER10 (Google Playストア)をインストールします。
- 2) アプリを実行すると、ライブビュー画面が表示されます。



- 3)  アイコンをクリックしてデバイスリストページを開き、+をタップしてデバイスを追加します。



4) 「手動」を選択し、NVR 情報を入力します。



デバイス名：任意の名前を設定ください。

ログインタイプ：接続方法を選択ください。

-デバイス ID：P2P 接続

-IP/ドメイン：IP アドレスもしくは DDNS

デバイス ID：P2P ID をスキャンするか手動入力してください。

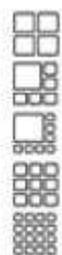
メディアポート：NVR のネットワーク設定のメディアポートを入力します

ユーザー名：ユーザー名を入力してください。

パスワード：パスワードを入力してください。

チャンネル：システムは、接続された後、NVR のチャンネル数を表示します

5) すべての設定が完了したら、[保存]をタップして保存します。



4 画面表示

6 画面表示

8 画面表示

9 画面表示

16 画面表示

注意：アプリは 1 つの画面に最大 16 画面を表示します。

他の 16 枚の写真を表示するには、画面をスリッして次の画面に移動できます。全部で 80 画面を表示できます。



スナップショット

携帯電話に録画します。

PTZ コントロール

画質

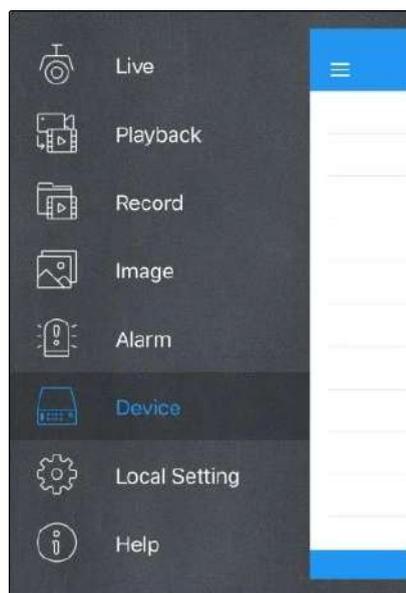
すべての画面を閉じる

音声の ON/OFF

画面の大きさを調整

デュアル音声 (オプション)

- 6)  アイコンをクリックして、ライブビュー、再生、ローカル録画ビデオ、キャプチャー画像、プッシュアラーム通知、デバイスマネージャ、ローカル設定、ヘルプのメニューリストを開きます。



# 第10章 補足

## 10.1 トラブルシューティング

1. Q : NVR が HDD を検出しない場合はどうすればよいですか？

A : 電源が正しく接続されているか、HDD に問題があるかどうかを確認してください。また仕様や説明を参照して、HDD が対応しているかどうかを確認してください。

2. Q : パスワードを変更しましたが、新しいパスワードを忘れました。どうすれば NVR にアクセスできますか？

A : パスワードを忘れた場合は、販売元へお問い合わせください。

3. Q : PC から HDD を取り出し、NVR に取り付けたいです。どうすればいいですか？

A : NVR に対応している HDD であればご使用いただけます。ただし、HDD 内のデータが全て失われる可能性がありますので予めご了承ください。

4. Q : 録音中に再生することはできますか？

A : はい。録音中に録画を再生することは可能です。

5. Q : NVR の HDD データを削除することはできますか？

A : セキュリティ上、データの一部を削除することはできません。すべてのデータを削除する場合は、HDD をフォーマットする必要があります。

6. Q : なぜ NVR クライアントにログインできないのですか？

A : ネットワーク接続の設定が正しいか、RJ-45 ポートが正しく接続されているかどうかを確認してください。またアカウントのユーザー名とパスワードがあっているかどうかも確認してください。

7. Q : なぜ NVR が PTZ を制御できないのですか？

A : 次の点を確認してください :

- a) フロント PTZ が誤動作している。
- b) PTZ デコーダの設定、接続、インストールが正しくされていない。
- c) NVR の PTZ 設定が正しくなされていない。